

**KAWASAKI CITY MUSEUM  
ANNUAL REPORT**

2016.4-2017.3

平成 28 年度

**川崎市市民ミュージアム年報**

平成 28 年度 川崎市市民ミュージアム年報

目 次

はじめに	3
概 要	4
平成 28 年度市民ミュージアム組織表	5
展示・上映	
1 企画展	6
2 アートギャラリー展示	13
3 博物館展示（考古・歴史・民俗）	15
4 マンスリー展示	17
5 特集展示	17
6 館外展示	17
7 ミュージアムライブラリー（映像・図書）	17
8 映画上映	18
9 ミニホール ビデオ上映	21
10 その他の展示等	22
11 他団体の展示	23
収集・整理・保存	
1 収集	24
2 整理・保存・修復	25
3 収蔵品の貸出・他館への協力	26
調査研究	
1 調査研究	29
2 出版	30
職員の派遣	31
教育・普及	
1 教育普及	31
2 実習生の受入れ	36
3 イベント	36
4 広報活動	37
5 友の会	37
資料	
川崎市市民ミュージアム条例	39
川崎市市民ミュージアム条例施行規則	42
企画展一覧	46
ギャラリー展示一覧	49
特別資料室展示一覧	53
映画上映一覧（映画）	53
平成 28 年度市民ミュージアム利用者統計表	59
平成 28 年度歳出予算	60
かわさき市美術展運営委員会	61
施設概要	62
職 員	63



## はじめに

川崎市市民ミュージアムは、美術館と博物館・映像文化センターの複合施設として昭和 63 年（1988 年）11 月に開館して以来、博物館・美術館の 2 つの側面から収集されたコレクションと独自性のある企画を館の特色として、様々な事業を展開してきました。

平成 28 年度の企画展は、40 年以上に渡り国際的な活動をしてきた異色のパフォーマンスアーティスト、折元立身の創作の軌跡を紹介した「生きるアート 折元立身」展をはじめ、『描く』『人に見せる』『たのしむ』というマンガの本質的な営為に着目した「『描く！』マンガ展～名作を生む画技に迫る - 描線・コマ・キャラ～」、新進気鋭の若手作家 6 名によるグループ展「&（アンパサンド）がカタチをひらくとき」を開催。これらの企画展では、アーティストがそれぞれに独自の視点でユニークなワークショップを展開しました。さらに、「昔のくらしと道具 2016」の特集展示では「わが家に“家電”がやってきた」と題して昭和 30～40 年代の電化製品や当時のカタログ類を展示し、「旅する人びと～東海道五十三次から世界へ～」展では、江戸時代から昭和のはじめにかけて大きく様変わりした旅の様相を紹介しました。

博物館展示では、常設展とは別に、毎月テーマを変えて市域の歴史や文化を紹介する「マンスリー展示」や「近現代特集展示」を実施し、収蔵資料を活用するとともに、様々な視点から川崎の歴史を紹介しました。

また、昨年 4 月にリニューアルオープンした映像ホールでは、4K 対応のデジタルシネマプロジェクターを導入するとともに 7.1ch 対応サラウンドシステムで音響設備を拡充、鮮やかな映像と迫力ある音響のデジタルシネマ作品などを上映しました。

さらに、子育て中の親同士が気軽に情報交換できる「ママカフェ」や、小さなお子様と一緒に展示を鑑賞いただける「ベビーカートゥアー」のほか、8 月と 12 月にはパークッションや管弦楽によるコンサートも開催しました。また、「福祉プログラム」として、障害の有無にかかわらず、参加者同士ことばをかわしながら一緒に美術作品を鑑賞する「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」を行うなど、幅広い層の方々に当館を楽しんでいただく事ができたかと存じます。

なお、当館は新たな魅力ある空間として市民へのサービス向上を目指し、平成 29 年度から指定管理者による運営に移行しました。当館がより皆様に愛され御利用いただけるよう、市民の文化芸術活動を振興するための拠点として、活力と魅力あふれる力強い都市づくりを推進する取組を展開してまいります。

皆様のご理解とご支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

川崎市市民ミュージアム

## 概要

川崎市市民ミュージアムは1988（昭和63）年11月、「都市と人間」を基本テーマに開館した。

都市は、さまざまな人が集まり次々と新しい文化を生み出している。市民ミュージアムは、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品を収集・展示・調査・研究している。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象に基本テーマを追求するほか、市民ミュージアムの情報を活用しながら、利用者が楽しく学習できるような学習講座も行っている。



トーマス転炉（日本鋼管 現 J F E 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。

1937年から1957年（昭和12年から32年）まで稼働。日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

## 沿革（開館まで）

1980年（昭和55年）

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）

漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

1981年（昭和56年）

川崎市博物館基本構想を策定

現代映像文化センター基本構想を策定

1982年（昭和57年）

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）

し、同時に展示基本計画書を策定

現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983年（昭和58年）

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、収集事業がスタート両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置

（企画調整局）し、基本計画を策定

1985年（昭和60年）3月

建築基本設計を完了

1985年（昭和60年）3月

展示基本設計を完了

1985年（昭和60年）4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985年（昭和60年）11月

建築実施設計を完了

1985年（昭和61年）3月

展示実施設計を完了

1986年（昭和61年）3月

建築工事着手

1987年（昭和62年）7月

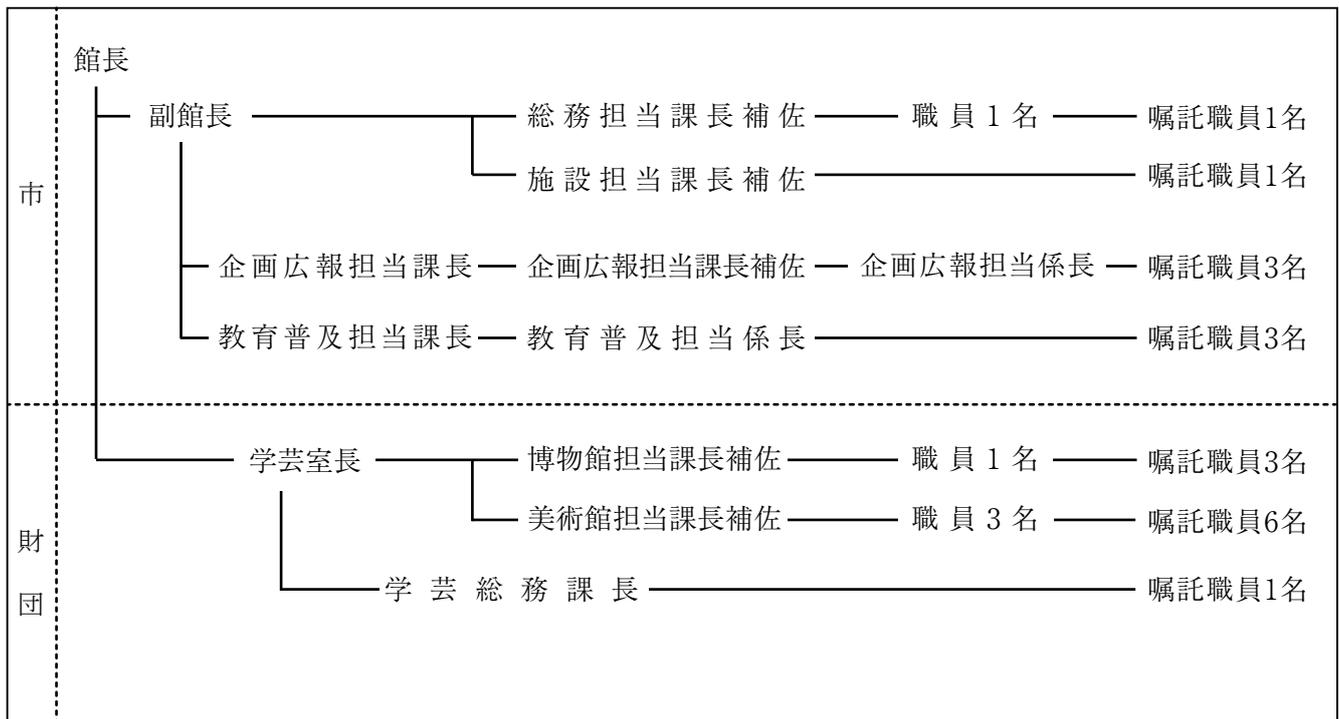
展示工事着手

川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988年（昭和63年）11月

川崎市市民ミュージアム開館

平成28年度 市民ミュージアム組織表



# 展示・上映

## 1 企画展

### 生きるアート 折元立身

〔会 期〕 4月29日～7月3日

〔入 場 者〕 2,879 人

〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム

〔観 覧 料〕 一般 700 円  
学生・65 歳以上 600 円  
中学生以下 無 料

#### 〔開催趣旨〕

折元立身（1946 年川崎生まれ、川崎市在住）は、パフォーマンス・アーティストとして、ヴェネチア・ビエンナーレを始め現代美術の前線で、40 年以上に渡り、国際的な活動を繰り広げてきた。その作品は、ひとを驚かせるユニークな発想に満ちている。90 年代には、顔一面にフランスパンを付けた異形で世界各地を旅し、現地の人々と交流した「パン人間」の路上パフォーマンスで注目された。90 年代後半には、自身が介護するアルツハイマー症の母を作品に登場させた「アート・ママ」のシリーズで世界的に知られるようになった。本展では、著しい進境を見せた 1990 年代から今日までとどまることなく繰り広げられてきた折元の創作の軌跡を、映像、写真、グラフィック、ドローイングといった多彩な表現で紹介した。

#### 〔主な展示品〕

- 《アート・ママ+息子》（2008年）
- 《パン人間の息子+アルツハイマー・ママ》（1996年）
- 《子ブタをおんぶする》（2012年）
- 《ベーターベン・ママ》（2013年）

#### 〔印刷物〕

図 録：A4 判 16 頁  
チ ラ シ：A4 判  
ポスター：B1 判、B2 判、B3 判  
レセプション：案内カード、封筒、FAX シート

#### 〔関連イベント〕

##### ◎オープニング・レセプション

日 程：4月28日  
開会式 逍遥展示空間  
内覧会 企画展示室 1・2  
懇親会 ラウンジ  
参加人数：120 名

##### ◎なんでもキャンパス！身近なものに絵をかいてみよう！

日 程：5月5日  
会 場：逍遥展示空間  
講 師：川口珠生（現代美術家）  
参加人数：19 名  
料 金：500 円

##### ◎対談 折元立身×山下里加 「折元さんを知る」

日 程：5月7日  
会 場：ミニホール  
料 金：無料  
参加人数：25 名

##### ◎トーク & ギャラリーツアー 「折元さんと見る」

日 程：5月14日  
会 場：企画展示室 1・2  
参 加 料：無料  
参加人数：30 名

##### ◎新作パフォーマンス発表「車いすのストレス」

日 程：6月11日  
会 場：逍遥展示空間  
パフォーマー：折元立身  
参 加 料：無料  
参加人数：120 名

##### ◎アーティストトーク「折元さんに聞く」

日 程：6月25日  
会 場：第 3 研修室  
参 加 料：無料  
参加人数：36 名

##### ◎ベビーカーツアー

日 程：5月19日  
会 場：企画展示室 1  
参 加 料：無料  
参加人数：3 組 6 名

##### ◎学芸員による展示解説

日 程：  
4月30日・5月3日・5月22日・  
6月4日・6月18日・6月26日・  
7月2日  
参加人数：65 名

2016年4月29日(金・祝)  
7月3日(日)  
TATSUMI ORIMOTO  
ART x LIFE  
KAWASAKI CITY MUSEUM  
〔生きるアート 折元立身〕展



## 『描く!』マンガ展 ～名作を生む画技に迫る―描線・コマ・キャラ～

〔会 期〕 7月23日～9月25日(前期7月23日～8月21日、  
後期8月23日～9月25日)

〔入 場 者〕 11,390人

〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム

〔後 援〕 朝日新聞川崎支局、NHK 横浜放送局、FM  
ヨコハマ、神奈川新聞社、かわさき FM  
(79.1MHz)、  
産経新聞社横浜総局、tvk (テレビ神奈川)、  
東京新聞川崎支局、毎日新聞川崎支局、読売  
新聞川崎支局

〔監 修〕 伊藤剛 (マンガ評論家・東京工芸大学マンガ  
学科教授)

〔監修アシスタント〕 三輪健太郎 (マンガ研究者・東京工  
芸大学)

〔企画協力〕 アートプランニングレイ、手塚プロダクション

〔特別協力〕 NPO 法人 熊本マンガミュージアムプロジェ  
クト、株式会社ボックス、講談社、集英社、  
小学館、少年画報社、スクウェア・エニックス、  
GG 7、ムービック、有限会社トランキライ  
ザープロダクト、よつばスタジオ、リイド社、  
pixiv

〔企画協賛〕 東京工芸大学マンガ学科、京都精華大学、株  
式会社セルシス、株式会社ワコム、デリーター  
株式会社、コミ Po!

〔特別協賛〕 コミックマーケット準備会、有限会社ねこの  
しっぽ

〔観 覧 料〕 一般	800 円
学生・65 歳以上	600 円
中学生以下	無 料

〔開催趣旨〕

日本人はこんなにマンガを描いてきた——「描く」「人  
に見せる」「たのしむ」という、マンガの本質的な営為に  
着目し、優れたマンガ家たちの卓越した作画技術を紹介す  
るとともに、その時代背景をさまざまな視点から改めて見  
つめ直した。

〔出品作家〕

〔第 1 章〕 手塚治虫、石ノ森章太郎、藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>、赤塚  
不二夫、水野英子

〔第 2 章〕 さいとう・たかを、竹宮恵子、陸奥 A 子、諸星  
大二郎、島本和彦、平野耕太、あずまきよひこ、  
PEACH-PIT

〔印 刷 物〕

チ ラ シ : A4 判 (A3 二つ折り)

ポスター : B2 判、B3 判

〔関連イベント〕

◎関係者・プレス向け内覧会

日 程 : 7月22日

会 場 : 企画展示室 1

◎『描く!』マンガ展×なかよし 60 周年 歴代表紙パネ  
ル展示

日 程 : 7月23日～9月25日

会 場 : エントランス、総論展示空間

◎対談水野英子×丸山昭「トキワ荘の思い出…U (ユー)・  
マイアのこと」

日 程 : 7月30日

会 場 : 映像ホール

出 演 : 水野英子(マンガ家)・ヤマダトモコ(マンガ研  
究者・明治大学米沢嘉博記念図書館スタッフ)

参 加 料 : 無料

参加人数 : 133 名

◎トークイベント「ものまねマンガ談義 線上の模倣者」

日 程 : 9月3日

会 場 : 映像ホール

出 演 : 田中圭一 (マンガ家・京都精華大学准教授)  
夏目房之介 (マンガコラムニスト・学習院  
大学教授)

ナビゲーター : 伊藤剛 (マンガ評論家・東京工芸大学  
マンガ学科教授)

参 加 料 : 無料

参加人数 : 263 名

◎ベビーカートツアー

日 程 : 8月4日

会 場 : 企画展示室 1

参 加 料 : 無料

参加人数 : 5 組 14 名

◎本展監修者によるギャラリーツアー

日 程 : 8月7日

会 場 : 企画展示室 1

講 師 : 伊藤剛 (マンガ評論家・東京工芸大学マンガ  
学科教授)

参 加 料 : 無料

参加人数 : 46 名

◎学芸員による展示解説

日 程 : 8月14日・8月20日・8月28日・9月19日・9月25日

参加人数 : 147 名

◎東京工芸大学による マンガ家体験ワークショップ「コマ割り実践講座」  
 日 程：8月7日  
 会 場：研修室2  
 講 師：伊藤剛（マンガ評論家・東京工芸大学マンガ学科教授）  
 参 加 料：無料  
 参加人数：28名

◎東京工芸大学による マンガ家体験ワークショップ「オリジナルキャラクターを描こう！」  
 日 程：9月4日  
 会 場：体験学習室  
 講 師：こめつぶ（マンガ家・東京工芸大学マンガ学科卒業生）  
 参 加 料：無料  
 参加人数：17名

◎東京工芸大学による マンガ家体験ワークショップ「オリジナルストーリーをつくろう！」  
 日 程：9月11日  
 会 場：体験学習室  
 講 師：夢来鳥ねむ（マンガ家・東京工芸大学マンガ学科准教授）  
 参 加 料：無料  
 参加人数：20名

◎東京工芸大学による マンガ家体験ワークショップ「マンガお絵かき教室」  
 日 程：8月17日・9月10日  
 会 場：逍遥展示空間  
 講 師：東京工芸大学マンガ学科有志  
 参 加 料：無料  
 参加人数：65名(2日間)

◎ワークショップ「なかよし編集部が行く！—最強まんが教室」  
 日 程：9月18日  
 会 場：体験学習室  
 講 師：伊藤みんご（マンガ家）・なかよし編集部  
 参 加 料：無料  
 参加人数：26名

◎リピーター割引  
 本展の半券を持参した観覧者は、通常料金の半額にて入場可能とした(割引適応は1回限り)。  
 利用人数：231名



## & (アンパサンド) がカタチをひらくとき

〔会 期〕 8月4日～9月25日  
 〔入 場 者〕 1,572人  
 〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム  
 〔観 覧 料〕 一般 300円  
           学生・65歳以上 200円  
           中学生以下 無 料

### 〔開催趣旨〕

今日、芸術が純粋に「私」を表現したものとしてではなく、「私」以外の他者や場所、時間といった取り巻く現実との関係性によって生み出されるものへと変容してきたことに注目し、その潮流を色濃く映し出す6人の若手作家を紹介した。

会期中には、作品展示だけでなく、作家を講師としたワークショップやイベントを多数開催した。

### 〔出品作家〕

アベキヒロカズ（グラフィック／エディトリアル・デザイン）、大原崇嘉（色彩・造形研究、映像）、木戸龍介（彫刻、インスタレーション）、桑田恵里（写真、プラチナプリント）、ぬQ（アニメーション）、柳川智之（色彩・造形研究）

### 〔主な展示品〕

○アベキヒロカズ 《works ~ 2013》2013年  
 ○大原崇嘉 《Numerics》2012年  
 ○木戸龍介 《Ash-Eternal Future-》2014年  
 ○桑田恵里 《共生／侵蝕》2013年  
 ○ぬQ 《カゼノフネ公園》2016年  
 ○柳川智之 《Valeur [Color Conversion]》2015年

### 〔印刷物〕

作 品 集：A2 八つ折り  
 チ ラ シ：A4 判  
 ポスター：B3 判

### 〔メディアア〕

特設 web サイト

[関連イベント]

〈作家による《中高生向け》ワークショップ〉

◎色彩に関するワークショップ

日 程：8月23日

会 場：体験学習室

講 師：大原崇嘉、柳川智之

参 加 料：無料

参加人数：10名

◎《White Rain》(川崎編)に参加しよう

日 程：8月2日

会 場：逍遥展示空間

講 師：木戸龍介

参 加 料：無料

参加人数：6名

◎サイアノタイプによる写真制作

日 程：8月7日

会 場：写真制作室

講 師：桑田恵里

参 加 料：無料

参加人数：4名

◎短編アニメーションをつくろう

日 程：9月10日

会 場：逍遥展示空間

講 師：ぬQ

参 加 料：無料

参加人数：11名

◎ The Kawasacky Times をみんなで作ろう

日 程：9月11日

会 場：逍遥展示空間

講 師：アベキヒロカズ

参 加 料：無料

参加人数：4名

〈作家による《一般向け》ワークショップ〉

◎かんたん！じぶんロゴバッジ屋台

日 程：8月20日・8月21日・9月3日・9月19日・9月22日・  
9月25日

会 場：アートギャラリー3

講 師：アベキヒロカズ

参 加 料：無料

参加人数：105名

◎《Numerics》制作プロセスを体験

日 程：8月27日・8月28日・9月10日・9月19日・9月24日・  
9月25日

会 場：アートギャラリー2

講 師：大原崇嘉

参 加 料：無料

参加人数：35名

◎《White Rain》(川崎編)に参加しよう

日 程：8月6日・8月9日・8月11日・8月13日・8月  
14日・8月16日

会 場：逍遥展示空間

講 師：木戸龍介

参 加 料：無料

参加人数：164名

◎Blooming Portrait Project - 植物と写るポートレイト  
のWS -

日 程：8月14日・8月21日・9月4日・9月11日・9月22日・  
9月25日

会 場：写真制作室

講 師：桑田恵里

参 加 料：500円

参加人数：61名

◎かんたん！アニメーション制作

日 程：8月6日・8月20日・8月24日・8月28日・9月4日・  
9月18日

会 場：アートギャラリー3

講 師：ぬQ

参 加 料：無料

参加人数：72名

◎色彩による相互作用を体験

日 程：8月27日・8月28日・9月10日・9月19日・9月24日・  
9月25日

会 場：アートギャラリー2

講 師：柳川智之

参 加 料：無料

参加人数：35名

〈作家によるトーク・イベント〉

◎ぬQ

日 程：8月7日

会 場：ミニホール

参 加 料：無料

参加人数：12名

◎木戸龍介

日 程：8月13日

会 場：ミニホール  
参 加 料：無料  
参加人数：10名

◎桑田恵里×畑中章宏（写真編集者）

日 程：8月28日  
会 場：アートギャラリー3  
参 加 料：無料  
参加人数：15名

◎大原崇嘉、柳川智之

日 程：9月19日  
会 場：ミニホール  
参 加 料：無料  
参加人数：8名

◎アベキヒロカズ×松澤茂信（東京別視点ガイド）

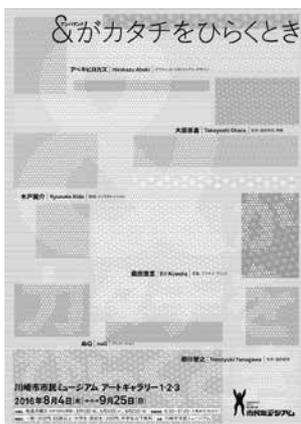
日 程：9月24日  
会 場：アートギャラリー3  
参 加 料：無料  
参加人数：20名

◎ベビーカーツアー

日 程：9月15日  
会 場：アートギャラリー1・2・3  
参 加 料：無料  
参加人数：3組6名

◎学芸員による展示解説

日 程：8月21日・9月4日・9月18日・9月22日  
参加人数：47名



## 昔のくらしと道具 2016

〔会 期〕8月6日～10月16日  
〔入 場 者〕10,157人  
〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

小学校3・4年生が社会科で学ぶ「昔の道具と人々のくらし」をテーマとした展覧会。日常生活に欠かせない衣食住にかかわる道具を中心に、昔の生活用具類を展示し、それらの道具のうつりかわりから人々のくらしの変化について紹介した。この他、囲炉裏や茶の間といった昔の生活空間の再現や、実際に昔の道具を体験できるコーナーも設けた。電化製品が普及していった昭和30～40年代を中心に、当時の電化製品やカタログ類を紹介する特集展示「わが家に“家電”がやってきた」を合わせて開催した。

〔主な展示品〕

- 囲炉裏、昭和39年（1964）の茶の間（復元）
- ブラザー足踏みミシン、三菱電機掃除機 TC-251
- 水式木製冷蔵庫、蚊やり豚、電気扇風機など

〔印刷物〕

- チ ラ シ：A4判
- ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎ベビーカーツアー

日 程：10月6日  
会 場：企画展示室2  
参 加 料：無料  
参加人数：4組9名

◎学芸員による展示解説

日 程：8月6日・8月13日・8月20日・8月27日・9月3日・  
9月10日・9月17日・9月24日・10月1日・10月8日・  
10月15日  
参加人数：100名

◎学校見学

参加学校：9校  
参加人数：1,027名



## 旅する人びと ～東海道五十三次から世界へ～

〔会 期〕10月8日～11月20日  
〔入 場 者〕2,804人  
〔主 催〕川崎市市民ミュージアム  
〔協 力〕交通史学会  
〔観 覧 料〕一般 500円  
          学生・65歳以上 400円  
          中学生以下 無 料

### 〔開催趣旨〕

本展では、自由な旅の萌芽が江戸時代にあったと捉え、江戸時代から昭和初期にかけての旅の様相を紹介した。展示では、当時の旅人が書き残した旅日記や、浮世絵や絵巻などから、具体的な旅の姿を展示し、当時の旅を追体験する構成とした。

### 〔主な展示品〕

- 大日本五道中図屏風（三井記念美術館）
- 東海道分間延絵図（郵政博物館）
- 1号機関車模型（鉄道博物館）
- 世界一周図会

### 〔印刷物〕

図 録：A4判 92頁  
チ ラ シ：A4判  
ポスター：B2判、B3判

### 〔関連イベント〕

#### ◎見学会「旅へ出発～東海道川崎宿を歩く」

日 程：10月22日  
参 加 料：500円  
参加人数：8名

#### ◎シンポジウム「旅の楽しみ」

日 程：10月30日  
会 場：映像ホール  
報告者と題目：杉山正司（埼玉県立文書館館長）「道中日記にみる伊勢参宮」  
鈴木勇一郎（立教大学）「近代東海道の旅みやげ」  
木庭俊彦（三井文庫主任研究員）「三井家の海外旅行」

参 加 料：無料  
参加人数：45名

#### ◎記念講演会「旅—江戸から現代まで—」

日 程：11月5日

会 場：映像ホール  
講 師：山本光正（元国立歴史民俗博物館教授・交通史学会会長）

参 加 料：無料  
参加人数：47名

#### ◎落語会

日 程：11月19日  
会 場：映像ホール  
出 演：桂米多朗  
参 加 料：無料  
参加人数：80名

#### ◎関連講座

##### （A）「旅日記にみる江戸時代の旅」

日 程：10月14日  
会 場：研修室3  
参 加 料：500円  
参加人数：30名

##### （B）「旅日記にみる明治・大正の旅」

日 程：11月11日  
会 場：研修室3  
参 加 料：500円  
参加人数：21名

#### ◎ベビーカートツアー

日 程：11月8日  
会 場：企画展示室1  
参 加 料：無料  
参加人数：3組7名

#### ◎学芸員による展示解説

日 程：10月9日・10月16日・10月23日・10月29日・  
11月3日・11月6日・11月12日・11月20日  
参加人数：135名



## 2016 川崎フロンターレ展

〔会 期〕12月17日～平成29年1月15日  
〔入 場 者〕6,223 人（AG2 会員限定ゾーンのみ）  
〔主 催〕川崎フロンターレ、川崎フロンターレ後援会  
〔共 催〕川崎市市民ミュージアム  
〔協 賛〕株式会社ピクトリコ  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

クラブ創立 20 周年を迎えた『川崎フロンターレ』の 2016 年の戦いの軌跡を写真や映像で紹介するとともに、フロンターレ関連資料（ユニフォーム、スパイク、タペストリー等）を用いてバラエティに富む展示を行った。

### 〔主な展示品〕

- 川崎フロンターレの 2016 年シーズンの戦いを記録した写真と映像
- 選手たちのユニフォームやスパイクなどの展示
- 参加型のギャラリー。思いでの写真やフロンターレグッズなどを持ち寄り展示
- ユース関連のトロフィー・賞状・ユニフォームなど
- 天皇杯準優勝記念品
- クラブ創立 20 周年関連の写真・記念品・原画・広報物など
- ふろん太くん似顔展（ミュージアムギャラリー）
- 「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト受賞作品（ミュージアムギャラリー）

### 〔印刷物〕

チ ラ シ：A4 判  
ポスター：B2 判、B3 判

### 〔関連イベント〕

- ◎チャリティトークショー（2017 年度後援会会員限定）  
日 程：12月17日  
会 場：映像ホール  
出 演：天野春果（川崎フロンターレプロモーション部長）、高尾真人（川崎フロンターレプロモーション部）、伊藤宏樹（川崎フロンターレ強化部スカウト担当）  
参 加 料：無料  
参加人数：220 名

- ◎川崎ミニものづくりフェア in フロンターレ展  
「鍛金ふろん太作り」「バナナスタンド作り」  
日 程：12月18日  
会 場：アートギャラリー 3  
参 加 料：「鍛金ふろん太作り」：600 円

（2017 年度後援会会員 400 円）  
「バナナスタンド作り」：800 円  
（2017 年度後援会会員 500 円）

- 参加人数：「鍛金ふろん太作り」：11 名  
「バナナスタンド作り」：23 名  
協 力：株式会社カワイ、Sanodesign × 中原工房

### ◎ゲーフラ作り体験

日 程：12月23日  
会 場：逍遙展示空間  
参 加 料：無料  
参加人数：40 名  
協 力：有限会社染太郎

### ◎ミニ四駆工作教室

日 程：12月24日  
会 場：逍遙展示空間  
参 加 料：1,200 円（2017 年度後援会会員 1,000 円）  
参加人数：32 名  
協 力：株式会社タミヤ

### ◎「川崎のホコサキ」公開収録

日 程：12月25日  
会 場：逍遙展示空間  
参 加 料：無料

### ◎出張アズーロ・ネロ「新春セール」

日 程：平成29年1月7日  
会 場：ミュージアムショップ  
参 加 料：無料

### ◎新春書き初め！寄席文字教室

日 程：平成29年1月9日  
会 場：体験学習室  
参 加 料：300 円（2017 年度後援会会員 100 円）  
参加人数：63 名

### ◎「ふろん太&カブレラ」記念撮影会

日 程：平成29年1月9日  
会 場：映像ホールロビー  
参 加 料：無料  
参加人数：392 名

### ◎「フロンターレをさがせ！」

日 程：平成29年1月14日・1月15日  
参 加 料：200 円（2017 年度後援会会員 100 円）  
参加人数：381 名



50 回記念誌：B5 判

〔関連イベント〕

◎表彰式・講評会

日 程：平成29年1月14日



## 第 50 回記念 かわさき市美術展

〔会 期〕12月23日～平成29年1月14日

〔入 場 者〕2,221 人

〔主 催〕川崎市、かわさき市美術展運営委員会

〔後 援〕川崎市教育委員会

〔協 賛〕川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合

〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

市民による文化創造を奨励するため、平面、彫刻・立体造形、工芸、書、写真、中学生の各部門の応募作品で審査、講評し、入賞・入選作品を展示することで、多くの市民への鑑賞の機会を創出し、本市の美術分野における文化的な質を高め、市民ミュージアムと市内の美術家、教育機関、各種団体の相互交流、連携を図った。特に本年度は第 50 回をむかえ、記念誌を発行した。

〔主な展示品〕

第 50 回記念 かわさき市美術展 入賞作品

○最優秀賞：平面部門 吉永蛍《猿の夢寐》

○特 選：工芸部門 古家郁子《風の波》

彫刻・立体造形部門 田平徹《泥脚佩雲》

書部門 木下清華《万葉集三首》

写真部門 渡辺忠《鈍色の街》

○ヤング大賞：田中桜子《日》

山崎来《SPECIES》

〔印刷物〕

募集要項：ポスター：B3 判

応募要項：A4 判（A3 二つ折り）

展 覧 会：ポスター：B3 判

チ ラ シ：A4 判

ポストカード

入賞・入選作品集：B5 判

## 2 アートギャラリー展示

シリーズ・映像のクリエイティビティ：  
ナム・ジュン・パイクとシゲコ・クボタ  
—折元立身が70年代ニューヨークで出会ったアーティストたち

〔会 期〕4月4日～7月24日

〔会 場〕アートギャラリー1

〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

当館の貴重なビデオアート・コレクションを紹介するシリーズ展。70年代ニューヨークのアートシーンを彩ったビデオアートの作品を上映。同時期に企画展示室で紹介したパフォーマンス・アーティスト、折元立身がニューヨーク時代に助手を務めるなどゆかりのあった作家、ナム・ジュン・パイクとその妻シゲコ・クボタの作品を取り上げた。また、パフォーマンスアートの巨匠、マリーナ・アブラモヴィッチによるビデオ作品も上映し、パフォーマンスアートの世界を紹介した。

〔主な展示品〕

○ナム・ジュン・パイク《ジョン・ケージに捧ぐ》

〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：6月4日・6月18日・7月2日

参加人数：16 名

## シリーズ・川崎の美術 樋口正一郎・井川惺亮展

〔会 期〕 4月9日～7月24日  
〔会 場〕 アートギャラリー 2・3  
〔観 覧 料〕 無料

### 〔開催趣旨〕

絵画や立体作品のほか、清澄白河駅ホームの壁画などのパブリックアートを制作している樋口と、インスタレーションを中心に制作している井川を紹介した。同じ時代を生き、制作し続ける2人の作家を通じ、現代美術の一端を垣間見る展覧会。

### 〔主な展示品〕

- 井川惺亮 《Peinture》
- 樋口正一郎 《偏心》

### 〔関連イベント〕

#### ◎流し絵と折り鶴に着彩しよう！

日 程：4月10日  
会 場：逍遙展示空間  
講 師：井川惺亮（現代美術家、長崎大学名誉教授）  
参 加 料：300円  
参加人数：28名

#### ◎学芸員による展示解説

日 程：4月9日・4月30日・5月21日・7月16日  
参加人数：24名

## 新井卓 第41回木村伊兵衛写真賞 受賞速報展

〔会 期〕 7月5日～7月24日  
〔会 場〕 アートギャラリー 2  
〔観 覧 料〕 無料

### 〔開催趣旨〕

写真界の芥川賞とも呼ばれる木村伊兵衛写真賞。今年の実賞者である新井卓（あらい たかし）は、約180年前の写真技法であるダゲレオタイプを使って福島、広島、長崎などの核の遺物を撮影し続けた作品で同賞を受賞。また新井は川崎市出身で、かつて当館で開催した写真講座の実講生でもあった。当館では新井の実賞を記念し、展示を行った。

### 〔展示品〕

- 《2011年6月5日、座礁したアジアシンフォニー号、釜石市浜町》

## 竹宮恵子監修 原画'（ダッシュ）' 展示シリーズ 青年マンガの世界

〔会 期〕 10月8日～12月11日  
〔会 場〕 アートギャラリー 1  
〔共 催〕 京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム

〔協 力〕 トランクライザープロダクト

〔観 覧 料〕 無料

### 〔開催趣旨〕

平田弘史・ながやす巧・村上もとか3名の原画を元にした原画'（ダッシュ）'と、竹宮恵子の原画'（ダッシュ）'のほか、『ガロ』や『COM』などの雑誌や貸本など、著作に関連した資料も展示した。

〈原画'（ダッシュ）'とは〉

退色等劣化しやすいマンガ原稿の保存と公開を両立させるため、コンピュータに原稿を取り込み、綿密に色調整を重ねた上で印刷した精巧な複製原画。マンガ家で京都精華大学学長の竹宮恵子を中心となって開発した。

### 〔主な展示品〕

- 平田弘史「おのれらに告ぐ」
- 竹宮恵子「アンドロメダ・ストーリーズ」
- 村上もとか「JIN-仁-」
- ながやす巧／浅田次郎「壬生義士伝」

### 〔関連イベント〕

#### ◎平田弘史サイン会

日 時：11月20日  
会 場：アートギャラリー前  
参加人数：36名

#### ◎村上もとか×竹宮恵子トークショー・サイン会

日 程：12月4日  
会 場：映像ホール  
出 演：竹宮恵子（マンガ家、本展監修者）、村上もとか（マンガ家）  
参 加 料：無料  
参加人数：128名（サイン会：95名）

#### ◎学芸員による展示解説

日 程：10月15日・11月19日  
参加人数：7名

## 山岳写真展

〔会 期〕 10月8日～12月11日  
〔会 場〕 アートギャラリー 2

〔観覧料〕無料

〔開催趣旨〕

富士山を撮り続け、旧五千円札・現千円札の図柄の元となった富士山の写真でも知られる岡田紅陽や、安曇野や北アルプスを愛し、日本の山岳写真のパイオニアであり、また世界的評価も高いナチュラリスト田淵行男、ドラマチックな色彩で新しい山岳写真の分野を切り開いた白川義員など、美しい山々を撮影した写真で自然の素晴らしさを紹介した。

〔主な展示品〕

○岡田紅陽《黒富士 三ツ峠》1948年

〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：10月29日・12月3日

参加人数：7名

## ベスト・セレクション—世界旅行に出かけよう

〔会 期〕10月8日～12月11日

〔会 場〕アートギャラリー3

〔観覧料〕無料

〔開催趣旨〕

当館の収蔵品を「世界旅行」という切り口で取り上げた。ロートレックやカッサンドルのポスター、篠山紀信やロバート・フランクの写真作品、ビゴアの漫画作品、濱田庄司の陶芸作品など代表的なコレクション70点あまりを展示した。

〔主な展示品〕

○アルフォンス・ミュシャ《モナコ・モンテカルロ／P.L.M. 鉄道》

○アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《ムーラン・ルージュのラ・ゲーリュ》

〔関連イベント〕

◎対話型鑑賞会

日 程：10月30日・11月27日

会 場：アートギャラリー3

参加人数：延べ19名

協 力：アート・コミュニケータ東京

◎ワークショップ ～ TOKAI × MUSEUM GO ～ ミュージアムで世界旅行

日 程：10月23日・11月6日

会 場：逍遙展示空間 他

参加人数：延べ294名

協 力：東海大学課程資格教育センター

◎視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ@川崎市  
市民ミュージアム—ことばで旅するコレクション—

日 程：11月23日

会 場：アートギャラリー3

参加人数：15名

◎学芸員による展示解説

日 程：11月5日

参加人数：3名

## 3 博物館展示(考古・歴史・民俗)

### 常設展示「博物館展示」

2007年(平成19年)4月から、時系列に沿って川崎市域の歴史と文化を紹介する展示場としてリニューアルオープンした博物館展示室は、「民俗」、「原始」、「古代」、「中世・近世1」、「近世2」、「近・現代」(「文化財シアター」を改修し2012年(平成24年)5月にリニューアルオープンした)の6室で構成している。展示場の壁面に設置した大きな年表を参照しながら、それぞれの時代を特徴付ける展示資料を観覧できる。

また、展示資料も、現在の調査研究成果を踏まえたものに変更し、新収集品の積極的な公開にも努めた。

### 第1室「民俗」

川崎市が商工業の発達にともなって都市化への道を歩み始めた頃、多摩川沿いに広がる農村部では稲作を中心とした暮らしが営まれていた。民俗展示室では、そのような村の人々の日常生活、行事、信仰、生産活動を振り返り、どのような地域社会が形成されていったのか、往時の共同体意識・村意識について考察している。導入部に復元されている登戸台和地区の「セエノカミのオコモリ小屋」は、現在では見るができなくなっているもので、貴重な資料として展示している。

〔主な展示品〕

セエノカミのオコモリ小屋(多摩区登戸・台和地区)、的祭りの的・弓・矢(中原区・日枝神社、多摩区・子之神社)、平の初卯祭「蛇」(宮前区平・白幡八幡大神)、大山講御神酒杵箱、念仏講道具、講中の掛軸、宮内の雨乞い「ジャ・雷・蛙・オタマジャクシ」(中原区宮内)、獅子頭(宮前区初山・菅生神社)、屋根替模型、稲作農具(唐箕、足踏式脱穀機など)など

## 第2室「原始」

川崎に人類が住み始めた旧石器時代は、いわゆる氷河時代で、日本列島は大陸と南北でつながっていた。この時代、川崎にも小規模ながらいくつかの遺跡が確認されている。約13000年前頃から地球規模で温暖化が始まり、それとともに土器や弓矢が発明された。縄文時代の始まりである。約1万年間つづいた縄文時代は、狩猟・採集に基礎をおきながら、後半は植物の管理・栽培も行われていた社会だ。川崎には最も古い段階から、縄文時代終焉までの集落や貝塚などの遺跡が豊富である。農耕が本格化する弥生時代は、集落を溝で囲む環壕集落が登場し、階級社会への歩みを始める時代。第2室では、こうした時代の資料を展示している。

〔主な展示品〕

旧石器時代資料（宮前区鷺ヶ峰遺跡）、貝塚出土資料（高津区子母口貝塚・新作貝塚）、貝層剥取り標本（子母口貝塚）、植物調理資料（多摩区No.61遺跡）、草創期～晩期の土器・石器、弥生時代の土器・石器・ガラス製品など

## 第3室「古代」

原始農耕社会が円熟してくると、人びとの地域的なまとまりが強くなり、階級が生じてくる。その一つの象徴が古墳である。特定の個人のために大きな墓を作る古墳時代は、川崎周辺では4世紀になって登場するようになった。その後6世紀後半になると古墳の築造が多くなり、崖面に横穴を掘り、これを古墳とする横穴墓も7世紀まで盛んに作られるようになる。しかし、律令国家・仏教思想の進展とともに、次第に古墳築造にかわり、寺院の建立や国衙・郡家の創設とその支配を受けるようになる。川崎の大部分は武蔵国橘樹郡（評）であり、影向寺と千年周辺が、橘樹郡の中心地となった。

〔主な展示品〕

幸区白山古墳出土品（複製）、埴輪（高津区久本山古墳・稲荷塚古墳）、横穴墓出土品（多摩区長者穴、麻生区早野など）、瓦（宮前区影向寺、麻生区岡上4遺跡、麻生区宮添）、骨蔵器（多摩区鷺鷥沼）、橘樹郡家ジオラマなど（複製）

## 第4室「中世・近世1」

古代律令国家が崩壊し、11世紀になると多くの土地が荘園・公領に編成される。川崎市域にも荘園・公領が確認されるが、ここでは中でも比較的伝来のわかる稲毛荘に関わる資料を展示している。一方、戦国時代になると、川崎市域は小田原城を拠点とする北条氏の支配地となるが、北条氏の滅亡に伴い、徳川氏の領地となり、近世をむかえることとなる。

近世の川崎市域は、江戸近郊に位置することもあり、大部分が幕府直轄領と、旗本の領地となった。しかし、

平野部以外に臨海部、丘陵部、河川部など、その地理的条件により、村のくらしは異なっている。これら領主に関わる資料、人々の生業に関わる資料、平野部の耕作を支えた二ヶ領用水に関する資料を展示している。

〔主な展示品〕

多摩川流域絵図（複製）、稲毛本荘検注目録（複製）、鰐口（複製）、鎌倉將軍家寄進状（複製）、北条氏政判物（複製）、岡上村御縄打水帳、大師河原村塩浜耕地絵図（複製）、稲毛川崎二ヶ領用水絵図上流部・下流部（複製）、小杉・等々力地境争論裁許状（複製）など

## 第5室「近世2」

江戸時代の川崎を代表する場所として、川崎宿があげられる。東海道の宿場である川崎宿には本陣や問屋場などの機能が備えられ、多くの人々が行き交った。また、江戸より川崎宿に入る手前には多摩川を渡る「六郷の渡し」があり、渡船場が設けられていた。これら街道に関わる資料のほか、幕末の動乱に巻き込まれてゆく、地域の様子がわかる資料を展示している。

〔主な展示品〕

川崎宿ジオラマ、川崎宿問屋記録、宿方明細帳、万年屋模型、横浜開港関係瓦版、外国人遊歩区域地図（複製）など

## 第6室「近代・現代」

明治政府による改革によって近代化が進められる中、官設鉄道の一停車場として川崎駅も新設される。そして東日本で最初の電気鉄道である京浜電気鉄道が開通し、昭和時代に入ると南武鉄道も開業し徐々に路線を拡大していく。これにより川崎駅から川崎大師にかけての都市化や、京浜工業地帯の発展の礎が築かれていくのである。川崎地域の近代化の始まりから、工業地帯の埋立地の拡大、戦時下の軍需産業に沸いた時期、そして高度経済成長期の川崎に関連する資料を展示している。

〔主な展示品〕

京浜電気鉄道車両模型、東京郊外電車回遊図絵、書簡図絵「工場は川崎へ」、浅野総一郎地先埋立予定地内池上家所有地実測図、川崎港案内など

## 4 マンスリー展示

2003年（平成15年）7月から、博物館展示室第5室の一部にマンスリー展示のコーナーを設置。マンスリー展示では、毎月テーマを設定して収蔵品を中心に資料紹介をした。また、学芸員によるマンスリートーク（展示解説）を月1回土曜日に開催した。

4月2日～4月29日	村の中の大商人 -長尾村鈴木家の経営-
4月30日～5月27日	高札-板に書かれた法令-
5月28日～6月24日	村役人をめぐる騒動
6月25日～7月29日	宿場を助けた村々-東海道川崎宿と助郷-
7月30日～8月26日	夏休み子どもマンスリー 新聞のうつりかわり
8月27日～9月30日	江戸時代の宮内村
10月1日～10月28日	旅する幸豊-砂糖の普及をめざして-
10月29日～11月25日	丸子の渡し
11月26日～12月28日	徳川将軍菩提寺と川崎-増上寺領の村々-
平成29年1月4日～1月15日	初春マンスリー 江戸・明治時代のカレンダー

## 5 特集展示

2012年（平成24年）5月から、博物館常設展示室「近代・現代」の一部に特集展示コーナーを設置し、川崎地域の近現代史におけるさまざまなテーマを設定し、収蔵品を中心にトピックス的な展示を行った。

2月20日～5月20日	多摩川架橋の歴史
5月21日～8月19日	はじめての選挙
8月20日～11月18日	伝染病と地域政治
11月19日～平成29年1月15日	川崎のくだもの

## 6 館外展示

市役所第三庁舎一階ロビーでは、「川崎の歴史と文化」をメインテーマとして、川崎市市民ミュージアムの収蔵品の中から地域に根差したテーマを選んでサテライト展示を行った。

第19期	4月4日～6月24日「戦後川崎港の再出発」
第20期	6月27日～8月26日 シリーズ川崎の遺跡Ⅳ「二子・諏訪古墳群」

第21期	8月29日～11月25日「考古発掘速報展 2016 上半期」
第22期	11月28日～平成29年1月27日「戦争のメモリアル」
第23期	平成29年1月30日～3月31日「考古発掘速報展 2016 下半期」

## 7 ミュージアムライブラリー (映像・図書)

### 映像

3階のミュージアムライブラリーでは、VHSテープの邦画と洋画、レーザーディスクを新たに公開し、テレビドキュメンタリー、ニュースを個人の研究視聴として公開している。

個人視聴ブース10台、15インチの液晶テレビでDVDとVHSに対応している。

〔公開映像一覧〕

- 牛山純一のテレビドキュメンタリー作品
  - 〈ノンフィクション劇場〉シリーズ
  - 〈すばらしい世界旅行〉シリーズ
  - 〈20世紀アワー〉シリーズ
  - 〈たのしい歴史旅行〉シリーズ
  - 〈ナブ号の世界動物探検〉シリーズ
  - 〈生きている人間旅行〉シリーズ
  - 〈知られざる世界〉シリーズ
  - 〈ドキュメント人生の劇場〉シリーズ
  - 〈ナゾの海底探検〉シリーズ
  - 〈ワールドスペシャル〉シリーズ
  - 〈牛山純一の世界〉シリーズ
  - 〈牛山純一と仲間たち〉シリーズ
  - 〈スペシャル番組〉シリーズ
- 日本ニュース映画（1940～1951）
- 神奈川ニュース映画 市政ダイジェスト
- 米国制作の戦争のドキュメンタリー
- 祭りの記録映像

### 図書

来館者の利用を主眼とした図書室で、約10万冊の書籍の閲覧が可能。また、下記の各分野に関する専門図書をコンピュータによって検索することもできるほか、一部の図書は開架式で自由に閲覧も可能である。

## 8 映画上映

〔会場〕映像ホール

〔主催〕川崎市市民ミュージアム

〔鑑賞人数〕8,481人

〔上映回数〕164回

### ●はるかなる山々【デジタル上映（一部）】

4月2日

11:00～ アルプス 天空の交響曲

4月3日

11:00～ 標高8125米 マナスルに立つ

14:00～ 南米パタゴニア探検 大氷河に行く

4月10日

11:00～ アルプス 天空の交響曲

4月16日

14:00～ アルプス 天空の交響曲

4月23日

11:00～ 南米パタゴニア探検 大氷河に行く

14:00～ 標高8125米 マナスルに立つ

4月24日

14:00～ アルプス 天空の交響曲

### ●音楽家の人生【デジタル上映（一部）】

4月2日

14:00～ パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト

4月9日

11:00～ 若き日のショパン

14:00～ ナンネル・モーツァルト 哀しみの旅路

4月10日

14:00～ パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト

4月16日

11:00～ パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト

4月17日

11:00～ ナンネル・モーツァルト 哀しみの旅路

14:00～ 若き日のショパン

4月24日

11:00～ パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト

### ●ポーランド映画祭 2015 in 川崎

#### 【デジタル上映（全作品）】

〔アンジェイ・ワイダと戦争〕

4月29日

11:00～ 世代

14:00～ 地下水道

4月30日

11:00～ 灰とダイヤモンド

14:00～ サムソン

5月4日

11:00～ 地下水道

14:00～ 灰とダイヤモンド

5月5日

11:00～ サムソン

14:00～ 世代

[ポーランド映画の都・ウッチ]

5月1日

11:00～ 身分証明書

14:00～ エヴァは眠りたい

5月3日

11:00～ ヴァバンク

14:00～ 約束の土地

### ●戦後ポーランド映画の系譜

5月7日

11:00～ マテウシの生活

14:00～ 熱病

5月8日

11:00～ 白鳥の歌

14:00～ マテウシの生活

5月14日

11:00～ マテウシの生活

14:00～ 熱病

5月15日

11:00～ 白鳥の歌

14:00～ 熱病

### ●セミヨン・アラノヴィッチ監督特集

5月21日

11:00～ 海に出た夏の旅

14:00～ トルペド航空隊

5月22日

11:00～ ヴィオラソナタ・ショスタコヴィッチ

14:00～ 私はスターリンのボディガードだった

5月28日

11:00～ 私はスターリンのボディガードだった

14:00～ 海に出た夏の旅

5月29日

11:00～ ヴィオラソナタ・ショスタコヴィッチ

14:00～ トルペド航空隊

### ●社会派エンタテインメント 反骨の映画作家たち

6月4日

11:00 ～ 女ひとり大地を行く  
14:00 ～ 箱根風雲録

6月5日

11:00 ～ 狼  
14:00 ～ ホワイト・ドッグ

6月11日

11:00 ～ 遊びの時間は終わらない  
14:00 ～ 狼

6月12日

11:00 ～ 箱根風雲録  
14:00 ～ 逆襲獄門砦

6月18日

11:00 ～ ゆき  
14:00 ～ 逆襲獄門砦

●ゴジラあらわる！ ～「映像のまち・かわさき」  
連携上映～【デジタル上映（一部）】

6月19日

11:00 ～ ゴジラ 60周年記念デジタルリマスター版  
14:00 ～ ゴジラ VS キングギドラ

6月25日

11:00 ～ ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃  
14:00 ～ ゴジラ VS キングギドラ

6月26日

11:00 ～ ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃  
14:00 ～ ゴジラ 60周年記念デジタルリマスター版

●映像のクリエイティビティ  
勅使河原宏と松本俊夫

7月2日

11:00 ～ おとし穴  
14:00 ～ 砂の女

7月3日

11:00 ～ 修羅  
14:00 ～ 《松本俊夫 35mm 短篇集》  
300 トントレーラー／西陣／素肌美のための  
12章／わたしはナイロン／白い長い線の記録

7月9日

11:00 ～ 他人の顔  
14:00 ～ 《松本俊夫 35mm 短篇集》  
300 トントレーラー／西陣／素肌美のための  
12章／わたしはナイロン／白い長い線の記録

7月10日

11:00 ～ 修羅  
14:00 ～ ドグラ・マグラ

7月16日

11:00 ～ 砂の女  
14:00 ～ 修羅

7月17日

11:00 ～ 他人の顔  
14:00 ～ おとし穴

7月18日

11:00 ～ ドグラ・マグラ  
14:00 ～ 《松本俊夫 35mm 短篇集》  
300 トントレーラー／西陣／素肌美のための  
12章／わたしはナイロン／白い長い線の記録

●マンガを描く人々 ～『描く！』マンガ展関連  
上映～【デジタル上映（一部）】

7月23日

11:00 ～ ほくらマンガ家 トキワ荘物語  
14:00 ～ トキワ荘の青春

7月24日

11:00 ～ バクマン。  
14:00 ～ TATSUMI マンガに革命を起こした男

7月30日

11:00 ～ トキワ荘の青春  
14:00 ～ ほくらマンガ家 トキワ荘物語  
上映後、対談 水野英子×ヤマダトモコ「トキワ荘の思  
い出…U（ユー）・マイアのこと」

7月31日

11:00 ～ TATSUMI マンガに革命を起こした男  
14:00 ～ バクマン。

●映画で見る平和への願い —Part1 戦争と日常—

8月6日

11:00 ～ みんなわが子  
14:00 ～ ひとりっ子

8月7日

11:00 ～ 十六歳の戦争  
14:00 ～ サマー・ソルジャー

8月11日

11:00 ～ 狂宴 古都とアメリカ兵  
14:00 ～ みんなわが子

8月13日

11:00 ～ サマー・ソルジャー  
14:00 ～ 狂宴 古都とアメリカ兵

8月14日

11:00 ～ ひとりっ子  
14:00 ～ 十六歳の戦争

●映画で見る平和への願い

—Part2 レンフィルム選集—

8月20日

11:00 ～ 七番目の道づれ

14:00 ～ 動くな、死ね、甦れ！

8月27日

11:00 ～ ミュージアム・ヴィジター

14:00 ～ 七番目の道づれ

8月28日

11:00 ～ 護送兵

14:00 ～ 動くな、死ね、甦れ！

11:00 ～ エスタッパン

14:00 ～ 黄昏

10月8日

11:00 ～ オリダット・あるところで

14:00 ～ 追われた人々

10月9日

11:00 ～ 魔法使いのおじいさん

14:00 ～ オリダット・あるところで

10月10日

11:00 ～ 追われた人々

14:00 ～ サーカス

●永遠のオリヴェイラ マノエル・ド・オリヴェ  
イラ監督追悼特集—Part1

【一部デジタル上映】

9月10日

11:00 ～ 過去と現在 昔の恋、今の恋

14:00 ～ フランシスカ

9月11日

11:00 ～ 階段通りの人々

14:00 ～ アブラハム溪谷

9月17日

11:00 ～ 春の劇

14:00 ～ 神曲

9月18日

11:00 ～ カニバイシュ

14:00 ～ 過去と現在 昔の恋、今の恋

9月19日

11:00 ～ ノン、あるいは支配の虚しい栄光

14:00 ～ アブラハム溪谷

9月22日

11:00 ～ 神曲

14:00 ～ ノン、あるいは支配の虚しい栄光

9月24日

11:00 ～ カニバイシュ

14:00 ～ 階段通りの人々

9月25日

11:00 ～ レステロの老人／アニキ・ボボ

14:00 ～ フランシスカ

●旅する映画 —Part1 ゴーヴィンダン・アラヴィ  
ンダン特集—

10月1日

11:00 ～ サーカス

14:00 ～ 魔法使いのおじいさん

10月2日

●旅する映画 —Part2 世界旅行へのいざない—

10月16日

11:00 ～ 足摺岬

14:00 ～ チョンリマ 千里馬

10月22日

11:00 ～ チョンリマ 千里馬

14:00 ～ 《旅行 PR 映画集》

ヨーロッパ・モデルコース／のり平 アメリカ

カ紀行／のり平 トラベルマナー／JAL 空の

旅シリーズ 香港・台湾

10月23日

11:00 ～ 《旅行 PR 映画集》

ヨーロッパ・モデルコース／のり平 アメリカ

カ紀行／のり平 トラベルマナー／JAL 空の

旅シリーズ 香港・台湾

14:00 ～ 東京キッドの漂流記 ユートピア

10月29日

11:00 ～ さらば夏の光

14:00 ～ 変奏曲

●川崎ゆかりの映画人【デジタル上映（一部）】

11月3日

11:00 ～ わかれ雲

14:00 ～ 大阪の宿

11月6日

11:00 ～ 宇宙人東京に現わる

14:00 ～ 囁く死美人

11月12日

11:00 ～ 西銀座駅前／盗まれた欲情

14:00 ～ 赤い橋の下のぬるい水

11月13日

11:00 ～ 人間蒸発

14:00 ～ あの残像を求めて／午前中の時間割り

11月20日

11:00 ～ 呐喊  
14:00 ～ 異邦人の河

11月23日

11:00 ～ 宵聞せまれば／悪徳の栄え  
14:00 ～ 帝都物語  
上映後、中堀正夫氏（『帝都物語』撮影監督）のトーク  
ショー

11月26日

11:00 ～ 無常  
14:00 ～ 曼陀羅

11月27日

11:00 ～ あさき夢みし  
14:00 ～ 哥 オリジナル・ヴァージョン

### ●インディペンデント映画特集

#### —Part1 ケン・ローチ初期傑作集—

12月3日

11:00 ～ 家庭生活  
14:00 ～ まなざしと微笑み

12月10日

11:00 ～ ブラック・ジャック  
14:00 ～ 家庭生活

12月11日

11:00 ～ キャシー・カム・ホーム  
14:00 ～ 狩場の管理人

12月23日

11:00 ～ まなざしと微笑み  
14:00 ～ ブラック・ジャック

12月24日

11:00 ～ 狩場の管理人  
14:00 ～ まなざしと微笑み

12月25日

11:00 ～ 家庭生活  
14:00 ～ キャシー・カム・ホーム

### ●インディペンデント映画特集

#### —Part2 1950年代独立プロ運動と演劇人たち—

平成29年1月14日

11:00 ～ どっこい生きてる  
14:00 ～ あやに愛しき

平成29年1月15日

11:00 ～ 浮草日記  
14:00 ～ 億万長者

※平成29年1月16日～3月31日まで改修工事休館の  
ため休映

## 9 ミニホール ビデオ上映

ミニホールでは、「日本の伝統・工芸品・極める匠の世界」「祭りの記録映像」「牛山純一と仲間たち テレビドキュメンタリー」「日本映画傑作選」を定期的に上映し、市民のホームシアターとして所蔵するビデオやDVDを活用した。

〔利用者数〕453人

〔上映回数〕33回

### ●日本の伝統・工芸品・極める匠の世界

日程：毎月第1火曜日14:00～

4月5日

金工芸 「鉄と炎に生きる」「甦る日本美」

5月3日

金工芸 「梵鐘・心の響きを求めて」「鉄に魂を打ち込む」

6月7日

金工芸 「平安の美を追いもとめて」「鑿が刻む自然の心」

7月5日

金工芸 「鍛えてしなやかに」「研ぐ・刃は白く、地は青く」

8月2日

金工芸 「神器を磨く」「炎にたくす技と命」

9月6日

金工芸 「鎚音響く器」「白銀師一刀装職人」

10月4日

金工芸 「輝きを仕つらえる」「漆芸を支えた鎚音」

11月1日

金工芸 「剛の装・雅びの拵え」

繊維工芸 「藍に生きる」

12月6日

繊維工芸 「充実の無を追う」人間国宝 小宮康孝

「品格の薫りを染めて」人間国宝 森口華弘

### ●祭りの記録映像

毎月第2火曜日14:00～

4月12日

華麗な山車の祭り 「岸和田のだんじり」「大津祭」「三国祭」「日高火防祭」

5月10日

神楽の祭り 「岩国行波の神舞」「本川神楽」「大元神楽」

6月14日

田楽・田遊びの祭り 「陸月神事」「鳳来寺田楽」「花園の御田舞」「西浦の田楽」

7月12日  
 延年の舞の祭り 「根知山寺の延年」「長滝の延年」「小迫の延年の舞」「毛越寺の延年」

8月9日  
 お盆の祭り 「ボゼ祭り」「アンガマ」「拝殿踊り」「新島の大踊り」

9月13日  
 相撲の祭り「唐戸山神事相撲」「角力大会」「一人相撲」「岩槻の古式土俵入り」

11月8日  
 念仏のある祭り「無生野の大念仏」「京都の六歳念仏」「夜行念仏」「壬生狂言」

12月13日  
 喧嘩の祭り「夜高祭」「灘のけんか祭り」「牛の角突きの習俗」「角館のやま行事」

### ●牛山純一と仲間たち テレビドキュメンタリー

日程：毎月第3火曜日 14：00～

4月19日  
 世界の民族紀行「大セピック川①」「大セピック川②」  
 ニューギニア高地から

5月17日  
 世界の民族紀行「大セピック川③」「大セピック川④」  
 ニューギニア高地から

6月21日  
 世界の民族紀行「森の狩人ピグミー アフリカの密林と砂漠から」

8月16日  
 世界の民族紀行「森の採集生活 アフリカの密林と砂漠から」

10月18日  
 「ブッシュマンとの70日 アフリカの密林と砂漠から」

11月15日  
 「ブッシュマン女の生活体験 アフリカの密林と砂漠から」「ブッシュマン男の生活体験 アフリカの密林と砂漠から」

12月20日  
 「ダート博士にきく人類誕生① アフリカの密林と砂漠から／ダート博士にきく人類誕生② アフリカの密林と砂漠から」

### ●日本映画傑作選シリーズ

日程：毎月第4火曜日 14：00～

4月26日  
 「エノケンの魔術師」昭和9年／モノクロ /73分

5月24日

「エノケンの青春酔虎伝」昭和9年／モノクロ /85分

6月28日  
 「水戸黄門漫遊記」昭和13年／モノクロ /81分

7月26日  
 「ハモニカ小僧」昭和15年／モノクロ /67分

8月23日  
 「歌ふ狸御殿」昭和17年／モノクロ /85分

9月27日  
 「新馬鹿時代」昭和22年／モノクロ /166分

10月25日  
 「三等重役」昭和27年／モノクロ /98分

11月22日  
 「続・三等重役」昭和27年／モノクロ /99分

12月27日  
 「お父さんはお人よし」昭和30年／モノクロ /85分

## 10 その他の展示等

### 開設 80 周年記念展

### 多摩川スピードウェイ～日本初の常設 モーターサーキット～

〔会 期〕 7月17日～7月31日

〔会 場〕 逍遥展示空間

〔入 場 者〕 約2,000人

〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム

〔共 催〕 多摩川スピードウェイの会

〔協 賛〕 日本プロセス株式会社

〔観 覧 料〕 無料

〔開催趣旨〕

昭和11年（1936年）、現在の丸子橋の上流の河川敷に、日本初の常設サーキットである「多摩川スピードウェイ」が開設されてから、本年で80周年を迎えた。

本展では、実物資料や写真のほか、初公開となる市民ミュージアム所蔵の貴重な映像等で往時の多摩川スピードウェイを振り返った。

〔主な展示品〕

○多摩川スピードウェイの会所蔵写真パネル

○「多摩川四季の行楽」（東横目蒲玉川電車）

○レースの様態を撮影した当時の映像

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4判

パンフレット：A4 3つ折り

〔関連イベント〕

- ◎ギャラリートーク 開設 80 周年記念展「多摩川スピードウェイ～日本初の常設モーターサーキット～」  
日 程：7月17日・7月31日  
出 演：片山光夫（多摩川スピードウェイの会長）  
参加人数：110 名



## 11 他団体の展示等

### 川崎ジュニア文化賞受賞作品展示

- 〔会 期〕 9月21日～11月30日  
〔会 場〕 総論展示室  
〔主 催〕 川崎ジュニア文化賞実行委員会

### MOA 美術館 川崎市児童作品展

- 〔会 期〕 10月28日～10月30日  
〔会 場〕 企画展示室 2  
〔入 場 者〕 2,355 人  
〔主 催〕 MOA 美術館 川崎市児童作品展実行委員会

### 平成 28 年度「かながわの遺跡」展 かながわの最初の現代人—旧石器時代の ヒトと社会—

- 〔会 期〕 12月10日～平成29年1月15日  
〔会 場〕 企画展示室 1  
〔入 場 者〕 2,544 人  
〔主 催〕 神奈川県教育委員会、川崎市教育委員会  
〔後 援〕 神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、ラジオ日本、FM ヨコハマ  
〔共 催〕 川崎市市民ミュージアム

〔観 覧 料〕 無料

〔開催趣旨〕

今から約 3 万 8 千年前に日本列島に最初にやってきた人々は、我々と同じ現生人類であることがわかっている。神奈川県内の発掘調査で出土した石器等を通して、現代の我々と通じる旧石器時代の人々や社会に迫る展示を行った。

〔主な展示品〕

- 座間市栗原中丸遺跡出土 槍先形尖頭器（神奈川県教育委員会蔵）
- 川崎市宮前区鷺ヶ峰遺跡第 2 地点出土 石器群（川崎市市民ミュージアム蔵）
- 横須賀市船久保遺跡 陥し穴状土抗剥取（玉川文化財研究所提供）

〔印刷物〕

- 図 録：A4 判 32 頁
- チ ラ シ：A4 判
- ポスター：A2 判・B2 判

〔関連イベント〕

◎特別講演

- ・第 1 回『日本人はどこから来たのか？ 遺跡・人骨・DNA からわかること』

日 程：12 月 18 日

会 場：映像ホール

講 師：海部陽介（国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ長）

参 加 料：無料

参加人数：190 名

- ・第 2 回『神奈川の歴史の始まり：考古学から見た日本列島における現代人の出現』

日 程：平成 29 年 1 月 7 日

会 場：映像ホール

講 師：佐藤宏之（東京大学大学院教授）

参 加 料：無料

参加人数：183 名

◎入門講座『旧石器時代の人なのに現代人？』

日 程：12 月 23 日

会 場：研修室 2

講 師：高屋敷飛鳥（神奈川県教育委員会）

参 加 料：無料

参加人数：24 名

◎小学生体験教室『黒曜石を割って石器を作ろう！』

日 程：12 月 17 日

会 場：体験学習室

参加料：無料

参加人数：16組 32名

◎担当職員による展示解説

日程：12月11日・12月18日・平成29年1月8日

参加人数：110名



## 収集・整理・保存

### 1 収集

#### (1) 考古担当

〔収集方針〕

川崎市域で発掘・発見された考古資料を中心に、周辺地域の関係資料の収集活動を行っている。

#### (2) 歴史担当

〔収集方針〕

川崎市域史に関わる歴史資料、および川崎を描いた絵画資料（絵図類・錦絵など）、また近現代の都市生活資料を中心に収集活動を行っている。

〔寄贈資料〕

- ・原英八氏寄贈資料 518点（永塚家文書ほか）
- ・只野浩一氏寄贈資料 8点（日本万国博覧会関係ほか）
- ・山崎孝氏旧蔵資料 一括（日本コロムビア関係ほか）
- ・石井登美子氏寄贈資料 一括（石井泰助関係資料）
- ・菊田稔氏寄贈資料 33点（大日本電線解体工事関係）

#### (3) 民俗担当

〔収集方針〕

川崎市域に伝えられてきた民俗資料を中心に収集を行っている。

〔寄贈資料〕

- ・保科達夫氏寄贈資料 2点（長火鉢、桶）
- ・富浜利郎氏寄贈資料 94点（家電カタログ他）
- ・原英八氏寄贈資料 67件（札所資料、絵葉書など）
- ・若杉和身氏寄贈資料 1点（インバネスコート）
- ・西台念仏講中寄贈資料 一括（念仏講道具）
- ・谷博充氏寄贈資料 1点（一斗升）

#### (4) 美術・文芸担当

〔収集方針〕

川崎市にかかわる作家の作品、資料の収集を行っている。

〔寄贈作品〕

- ・田中岑 油彩画 10点  
パステル 107点  
スケッチブック 2冊  
リトグラフ 1点  
素描 1点  
絵本 1冊
- ・まど・みちお スケッチ 50点  
愛用文具 14点
- ・渡辺豊重 油彩画 14点

- 立体 4点
- ドローイングなど 21点
- ・井川惺亮 油彩画 2点
- 立体 1点
- ・樋口正一郎 平面 5点
- 立体 2点
- ・重松岩吉 油彩画 1点
- ・富井大裕・近藤恵介 平面 3点
- 立体 4点

## (5) グラフィック担当

〔収集方針〕

ポスターと現代版画、および関連資料の収集を行っている。ポスターでは特に、印刷技術の発達により多色刷り・大判のポスター製作が可能になった19世紀から20世紀前半までのフランスを中心とするヨーロッパのポスターと、現代日本の優れたグラフィックデザイナーのポスター収集に力を入れている。版画ではポップ・アートを中心に収集している。

28年度の収集は行っていない。

## (6) 写真担当

〔収集方針〕

国内外の重要なドキュメンタリー作品の収集ならびに写真史の上で貴重な作品資料の収集を行っている。

〔寄贈作品〕

- ・南條敏之《suns》10点
- ・木村伊兵衛写真賞受賞作品
- 川島小鳥 5点
- 石川竜一 4点
- ・カメラ ヤシカフレックス A2 1台

## (7) 漫画担当

〔収集方針〕

日本漫画史を通観できる作品・資料、日本と相互影響関係にある外国漫画資料を収集している。

〔寄贈作品〕

- ・岡本一平《出勤前の一役》
- ・手塚治虫 単行本（1960年代）36点

〔寄贈資料〕

- ・雑誌『鉄腕アトムクラブ』（虫プロダクション友の会発行）14点

## (8) 映画担当

〔収集方針〕

独立プロダクションの作品の収集を基本としている。

〔寄贈資料〕

- ・武藤行雄記念文庫 151件

〔寄託資料〕

- ・小川益王『日本の華 肉筆浮世絵』35mmフィルム

## (9) ビデオ担当

〔収集方針〕

20世紀の記録・表現として時代・社会及び文化を反映する貴重な映像を収集することを基本方針としている。

28年度の収集は行っていない。

## 2 整理・保存・修復

### (1) 考古担当

〔整理〕

調査単位で受け入れてきた資料について、遺跡単位で統合し、データ化を行った。

### (2) 歴史担当

〔整理〕

上田家文書の目録を統合・整理した。原家文書のデータ入力を行った。また、新規収集資料の目録作成を行った。

〔保存・修復〕

- 資料燻蒸 3回

### (3) 民俗担当

〔整理〕

平成28年度収集資料の受け入れに伴い、資料のクリーニング、注記、撮影、資料カード作成を実施した。また、民俗資料カードのデータ入力作業ならびに資料写真のデジタル化作業を行った。

〔保存・修復〕

- 資料燻蒸 3回

### (4) 美術・文芸担当

〔整理〕

まど・みちおの文学資料の整理(1,000件)を行った。また、書籍の整理作業と、作品のデータ化作業を行った。

〔保存・修復〕

- 久保田孝司《魚》

### (5) グラフィック担当

〔整理〕

収蔵作品のフラットニング・作品カード作成・データ化

〔保存・修復〕

- ・収蔵ポスターのナンバリング及び収蔵棚の整理
- ・資料燻蒸 3回

## (6) 写真担当

[整理]

明治から昭和にかけての写真の整理 450枚

[保存・修復]

なし

## (7) 漫画担当

[整理]

戦前の雑誌『時事漫画』(約200冊)、戦前・戦後の雑誌『講談社の絵本』(約300冊)を、ストレージボックスに整理するとともに、カード作成(カード化、データ入力、画像処理、画像貼り込み等を含む)を進め、データベースの充実を図った。また、戦後の漫画雑誌・単行本を収蔵している第6収蔵庫において、ラベルを作成するなど棚の整備を行った。

[保存・修復]

資料燻蒸 3回

## (8) 映画担当

[整理]

映画スチール写真 50,000件のリスト化。

[保存・修復]

- ・劣化したフィルム缶の交換および入替 1,000件
- ・ビネガーシンドロームが発症していた『河 あの裏切りが重く』35mm画ネガのマスターポジを作成。

## (9) ビデオ担当

[整理]

実相寺昭雄 資料の整理。村木良彦 資料の整理。コンピュータアート発達史(セレンデピティー展関連資料)の整理。

[保存・修復]

なし

## 3 収蔵品の貸出・他館への協力

### (1) 考古担当

[資料貸出] (7件 1,159点)

- 黒川No.10 遺跡、下原遺跡、岡上遺跡、宮添遺跡出土品ほか 1,029点(川崎市立柿生中学校)
- 南原遺跡出土資料 49点(川崎市立南原小学校)
- 東高根遺跡出土土器 一括(東高根森林公園)

- 神庭遺跡出土土器 19点(神奈川県立中原養護学校)
- 加瀬台遺跡出土遺物 56点(日本大学文理学部資料館)
- 鷺ヶ峰遺跡出土遺物 一括(川崎市教育委員会)
- 長尾台北遺跡出土土器 4点(大田区立郷土博物館)
- [特別利用 13件 169点]

< 熟覧・撮影 >

- 梶ヶ谷遺跡出土遺物 一括(個人)
- 同 一括(個人)
- 長台北遺跡出土土器 4点(大田区立郷土博物館)
- 下原遺跡出土土偶 1点(個人)
- 宮添遺跡出土瓦塔・影向寺遺跡出土瓦 15点(個人)
- 下原遺跡出土石器 35点(個人)
- 万福寺遺跡群出土石器 106点(個人)
- 黒川東遺跡出土石器 1点
- < 原版使用 >
- 影向寺遺跡出土「都」銘文字瓦 1点(かわさき市民アカデミー)
- 白井坂埴輪窯跡出土馬形埴輪 1点(個人)
- 同 1点(宮前区役所地域振興課)
- 長尾台北遺跡14号住居跡カラー写真 1点(大田区立郷土博物館)
- 影向寺遺跡出土「无射志国荏原評」銘瓦 1点(吉川弘文館)

### (2) 歴史担当

[資料貸出] (1件 11点)

- 井田家文書ほか 11点(町田市教育委員会)
- [特別利用] (43件 640点)

< 熟覧 >

- 原家文書 8点(個人)
- 池上家文書 4点(横浜市歴史博物館)
- 井田家文書ほか 21点(町田市教育委員会)
- 原家文書 204点(宮内郷土史フォーラム)
- 成川家文書 4点(下平間小学校)
- 岡家文書 3点(個人)
- 森家文書 2点(個人)
- 原家文書ほか 106点(個人)
- 安藤家文書 4点(個人)
- 佐保田家文書 6点(個人)
- 森家文書ほか 13点(個人)
- 池上家文書 2点(個人)
- 森家文書 3点(個人)
- 鈴木家文書ほか 25点(川崎市公文書館)
- 森家文書ほか 39点(個人)
- < 撮影 >
- 調布玉川絵図ほか 3点(フジテレビジョン)

- 井田家文書ほか 11点 (町田市教育委員会)
- 増山家文書 1点 (ユニオン映画株式会社)
- 池上家文書ほか 4点 (個人)
- 深瀬家文書 63点 (川崎市教育委員会)
- 鈴木家文書ほか 41点 (個人)
- < 原版使用 >
- 新編武蔵風土記稿 1点 (かわさき市民アカデミー)
- 猫の戯画 1点 (立山博物館)
- 川上新田絵図 1点 (日本テレビ)
- 閻魔小兵衛ほか 3点 (立山博物館)
- 古筆手鑑 披香殿 1点 (日本習字教育財団)
- 森家文書ほか 3点 (品川歴史館)
- 小向梅林扁額ほか 3点 (幸区役所道路公園センター)
- 奉天府附近戦闘 1点 (株式会社オメガ社)
- 大師鉄道写真ほか 15点 (川崎区役所地域振興課)
- 小杉村絵図 1点 (株式会社アイ・ティー・エー)
- 東京郊外電車回遊図絵 1点 (練馬区立石神井公園ふるさと文化館)
- 池上家文書 2点 (株式会社同成社)
- 古筆手鑑 披香殿 4点 (日本習字教育財団)
- 川上新田絵図 1点 (日本テレビ)
- 市役所本庁舎写真ほか 4点 (川崎市)
- 小学校給食模型 9点 (川崎市教育委員会中学校給食推進室)
- 上丸子村小杉村上沼部村境絵図ほか 5点 (日本地名研究所)
- 須山家文書 1点 (富士宮市教育委員会)
- 池田新田文書ほか 9点 (品川区立品川歴史館)
- 「扇島海水浴場」1点 (横浜開港資料館)
- 「書簡国会 工事は川崎へ」1点 (公益財団法人馬事文化財団)
- 「砂糖製法秘訣」ほか 5点 (個人)

### (3) 民俗担当

- [資料貸出] (3件 29点)
- 鹿島田念仏講道具 25点 (鹿島田念仏講中)
- 『河童図説』ほか 3点 (八戸市博物館)
- 錦絵「時世粧菊揃(まじないがきく)」1点(小山市立博物館)
- [特別利用] (18件 72点)
- < 熟覧 >
- 唐箕ほか農具 8点 (鶴見大学)
- < 原版使用 >
- 「寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図」「河童像」2点 (株式会社見聞社)
- 「寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図」1点 (株式会社講談社)

- 「寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図」『河童図説』『善庵随筆』3点 (八戸市博物館)
- 「寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図」『絵本百物語』4点 (Cray fish 株式会社)
- 「化物絵巻」「寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図」『絵本百物語』6点 (株式会社ファミリーマガジン)
- 「現時二十四情」「尾張屋二階の図」ほか 12点 (武蔵野美術大学美術館)
- 「絵本百物語」1点 (ワック株式会社)
- 「髪切の奇談」1点 (株式会社天夢人)
- 「化物絵巻」1点 (株式会社NHK エンタープライズ)
- 羽釜 1点 (セレサ川崎農業協同組合)
- 「時世粧菊揃(まじないがきく)」1点 (小山市立博物館)
- 石橋醤油店資料写真ほか 9点 (川崎市立日本民家園)
- 「狂斎百図」ほか 12点 (武蔵野美術大学美術館・図書館)
- < 撮影 >
- 常設展示室資料 一式 (個人)
- 自動式壁掛電話ほか 6点 (川崎市立久地小学校)
- 常設展示 農具・雨乞い関係資料 2点 (個人)
- 念仏講道具一式 (丸善出版株式会社)

### (4) 美術・文芸担当

- [資料貸出] (1件 4点)
- 濱田庄司 大鉢 4点 (「人と大地が会おうとき」展 愛知県陶磁美術館)
- [特別利用] (7件 29点)
- < 原版使用 >
- 安田鞞彦「草薙の剣」(YOU テレビ株式会社)
- 安田鞞彦「草薙の剣」(株式会社ランズ)
- 安田鞞彦「帝国艦隊旅順攻撃」(株式会社オメガ社)
- 安田鞞彦「法隆寺壁画六号壁観音像(模写)」(株式会社平凡社)
- 岡本かの子肖像写真 (株式会社PHP 研究所)
- 黒木半之助「芝浜離宮ニ両陛下観桜ノ宴ヲ御開催之光景」(吉川弘文館)
- < 撮影 >
- 大貫雪之助書籍ほか 22点 (川崎市大山街道ふるさと館)

### (5) グラフィック担当

- [資料貸出] (2件 13点)
- アルフォンス・ミュシャ<ムーズ・ビール> 他9点 (「ミュシャと新製品の誘い」展 堺 アルフォンス・ミュシャ館)
- トゥールーズ=ロートレック<シンプソンのチェーン> 他2点 (郡山市立美術館)
- [特別利用] (3件 6点)

< 原版使用 >

- トゥールーズ=ロートレック<<ジャヌ・アヴリル>>  
(文部科学省「デジタル教科書」開隆堂出版)
- アルフォンス・ミュシャ<<ムーズ・ビール>>他1点(堺市文化振興財団)
- トゥールーズ=ロートレック<<シンプソンのチェーン>>  
他2点(郡山市立美術館)

## (6) 写真担当

[資料貸出] (4件 91点)

- 畠山直哉 写真作品 7点(足利市美術館)
- 田附 勝 写真作品 21点(伊藤忠アートスクエア)
- アジェ写真作品 62点(ポーラ美術館)
- アボット写真作品 1点(ポーラ美術館)

[特別利用 8件 57点]

< 原版使用 >

- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点  
(朝日新聞社)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点  
(株式会社ズーイ)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 4点  
(横浜銀行)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 29点  
(川崎市健康福祉局)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点(動輪堂)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点  
(読売新聞)
- アジェ写真作品 19点(ポーラ美術館)
- アボット写真作品 1点(ポーラ美術館)

## (7) 漫画担当

[資料貸出] (5件 97点)

- 赤本・貸本など資料 83点  
(豊橋市美術博物館 『描く!』マンガ展)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか7点  
(江戸東京博物館、あべのハルカス美術館 「大妖怪展  
土偶から妖怪ウォッチまで」)
- 幻灯機 1点  
(東京都公文書館 企画展示「東京1945-1954「文化ス  
ライド」に見る東京～昭和20年代」)
- 『東京パック』 1点  
(練馬区立美術館 「朝井閑右衛門展 空想の饗宴」)
- 『少女クラブ』など 5点  
(横浜そごう美術館 「月刊LaLa40周年記念原画展」)

[特別利用] (33件 778点)

< 原版使用 >

- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉  
1点(株山川出版社)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか「鉄鼠」ほか 6点  
(株山と溪谷社)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉  
1点(株学研プラス)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「狐火」ほか 2点  
(講談社)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童」 1点  
(八戸市博物館)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童」ほか 3点  
(Cryfish 株式会社)
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点  
(株チアフロ)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉  
1点(山川出版社)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』『百鬼徒然袋』より 〈再利用〉  
10点(株アフロ)
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点  
(香川県進路指導研究部)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉  
1点(宍評価問題研究所)
- ビゴー風刺画『Graphic』より〈再利用〉1点  
(株山川出版社)
- 「滑稽欧亜外交地図」 1点(吉川弘文館)
- 岡本一平肖像写真など 〈再利用〉2点(株学研プラス)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童」 1点(株日企)
- 朝井閑右衛門『東京パック』より 1点(練馬区立美術館)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「飛頭蛮」 1点  
(理大フォーラム)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童」〈再利用〉1点  
(株日企)
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点  
(明治図書出版株式会社)
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点  
(一般社団法人信州教育出版社)
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点  
(株アフロ)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「猿まね」 1点  
(名古屋経済大学市邨高等学校)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「雪女」〈再利用〉 1点  
(株NHK エンタープライズ)
- 江戸版本など 695点(株寿限無)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「メンザレ号の救助」1点  
(横浜みなと博物館)
- 下川凹天肖像写真など 2点

- (株)NHK エンタープライズ)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童」〈再利用〉1点  
(株)日企)
  - 下川凹天肖像写真など 〈再利用〉2点  
(株)NHK エンタープライズ)
  - 下川凹天肖像写真など 〈再利用〉2点  
(株)NHK エンタープライズ)
  - 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」〈再利用〉1点  
(株)悠工房)
  - ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉1点 (株)第一学習社)
  - 下川凹天関連資料 31点  
(京都精華大学国際マンガ研究センター)
- < 熟覧 >
- 幻灯機 1点 (東京都公文書館)
  - 『東京パック』 1点 (練馬区立美術館)

## (8) 映画担当

[資料貸出]

なし

[特別利用]

なし

## (9) ビデオ担当

[資料貸出]

なし

[特別利用]

なし

# 調査研究

## 1 調査研究

### (1) 考古担当

多摩川流域遺跡群研究会との共同研究で、蟹ヶ谷古墳群の発掘調査を5年間で行う事業の第5カ年目の発掘調査を実施した。平成28年度は、調査成果を発掘調査報告書にまとめた。またこれに伴い、調査成果を市民に還元することを目的とした展示を実施した。

鶴見大学との共同研究で、川崎市域の横穴式石室の石材に関して自然科学的分析を実施した。

### (2) 歴史担当

平成25年度に開催した「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」展で作成した昭和38年頃の川崎駅前ジオラマの充実に向けて調査を行った。また、宮内村についての古文書調査を行い、その成果をマンスリー展示「江戸時代の宮内村」にまとめた。加えて、当館所蔵の旅日記の調査を行い、企画展「旅する人びと～東海道五十三次から世界へ～」においてその成果を展示した。

### (3) 民俗担当

川崎の民具名称調査では、海苔養殖・漁撈関係資料を中心に実施した。歴史部門と合同で岡上地区・宮内地区の調査に着手し、聞き取り調査等を行った。また、昨年度に引き続き、富士山信仰に関する調査を行った。その他、博物館・美術館協同企画に関する調査研究を行った。

### (4) 美術・文芸担当

収蔵品に新たに加わったまど・みちおの晩年の文学資料の調査、川崎ゆかりの作家の調査を行った。50回を迎えたかわさき市美術展について検証し、冊子にまとめた。

### (5) グラフィック担当

収蔵品の年代や来歴について調査を行い、作品カードに反映させた。現代のグラフィックデザイナーについて、過去の調査ファイルをまとめ、再調査を行った。

### (6) 写真担当

山岳写真展の開催に伴い、収集作家である岡田紅陽、白川義員、田淵行男、白簀史朗について調査した。

### (7) 漫画担当

学習院大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムに

おける漫画関係資料の調査研究」にもとづき、今後の方針と研究計画についての協議を行った。

文化庁「メディア芸術アーカイブ推進支援事業」（採択事業者：(株)寿限無）に協力し、デジタル化作業を行う江戸期から大正期の所蔵資料に関する調査を行った。

〔仕様〕 A4版 30頁

〔発行〕 平成29年2月28日発行 300部

## (8) 映画担当

毎月の企画上映において、上映作品に関する調査を行った。特に本年度より導入されたデジタルシネマ作品に関する調査を重点的に行った。

## (9) 映像（ビデオ）担当

神奈川ニュース映画協会が制作した川崎市市政ニュース映画のナレーションをテキスト化し、年代別、区域別などの分類を調査した。記録映画保存センターの協力により、16mmフィルムの視聴覚教材の活用について、デジタル化のための方法と成果について提案書をまとめた。

## 2 出版

### (1) 『川崎市市民ミュージアム紀要第29集』

川崎市市民ミュージアム紀要は、考古・歴史・民俗・美術文芸・グラフィック・写真・漫画・映画・ビデオ及び施設運営・管理などに関する論文・資料紹介から構成し、ミュージアム職員の日頃の調査研究の成果を発表したものである。

〔内容〕

- 平成28年度企画展「生きるアート 折元立身」展示ノート 深川雅文
- 博物館と学校教育の連携—市民ミュージアムにおける「昔のくらし展」について 高橋典子・朝倉千亜希
- 資料紹介 小川武 関連資料  
～戦前の漫画界における漫画家としての“周縁的な”活動をめぐって～ 吉村麗
- 増山家本『民間省要』について—その資料的価値をめぐって— 望月一樹

### (2) 『川崎市市民ミュージアム考古学叢書8 蟹ヶ谷古墳群』

川崎市市民ミュージアム考古学叢書は、市域の重要な遺跡について市民ミュージアムが行った発掘調査・再整理などの調査研究による成果の報告書である。平成28年度は、多摩川流域遺跡群研究会（代表：土生田純之）と川崎市市民ミュージアムとが平成24年度から5ヶ年計画で共同研究した蟹ヶ谷古墳群の調査報告書を刊行した。

## 職員の派遣

### (1) 博物館

- 6月3日 東海道川崎宿交流館運営委員会（歴史担当）
- 7月17日 相模民俗学会 講師（民俗担当）
- 7月24日 川崎区地域振興課 麦藁細工講師（民俗担当）
- 9月30日 川崎市市民自主講座「多摩の文化財めぐり」講師（歴史担当）
- 11月2日 かわさき市民アカデミー 講師（歴史担当）
- 平成29年3月11日 川崎市教育委員会生涯学習部文化財課「古墳めぐり」講師（考古担当）

### (2) 美術館

- 10月27日、平成29年3月9日 多摩老人福祉センター「西洋美術講座」講師
- 平成29年1月19日 なかはらフォトコンテスト審査
- 平成29年2月2日 早稲田大学エクステンションセンター「美術館を楽しむ」講師
- 平成29年2月18日 なかはらフォトコンテスト表彰式参加ならびに講評

## 教育・普及

### 1 教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえるよう事業を展開する。また、子育て支援事業としてのママカフェの実施やボランティア活動の組織化、及びその拡充を図る中でボランティアスタッフと共に事業を推進している。

#### (1) スクールプログラム

市民ミュージアムの特性を活かし、市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象とし、学校での学習单元や社会体験に沿ったプログラムを学校等の教育機関と市民ミュージアムが協働して実施するプログラムである。

#### ◎社会科教育推進事業

日 程：9月1日～平成29年1月12日（45日間）  
場 所：ガイダンスルーム、逍遙展示空間、博物館展示室  
講 師：教育普及担当  
参 加 校：81校  
参加人数：8,704名（児童8,259名 引率教員445名）  
バス借上げ：160台

#### ◎「昔のくらしと道具 2016」学校見学

市内小学校の3年生を対象に、学校のカリキュラム「昔の道具とくらし」にあわせ、暮らしの道具の移り変わりを学ぶプログラム。企画展に団体で受入れ、解説等を行った。

日 程：9月2日～10月14日  
参 加 校：9校 1,027名

#### ◎博物館・美術館・総合学習プログラム

教育普及担当や学芸員の解説をつけた館及びバックヤード見学、民俗・考古・歴史の常設展示・企画展示の見学、アートギャラリー展、企画展の鑑賞、体験プログラム

日 程：通年  
場 所：企画展示室1・2、体験学習室、バックヤード、研修室、常設展、アートギャラリー  
対 象：小学生～大学生  
講 師：教育普及担当、担当学芸員  
参加人数：22校 延べ440名

#### ◎出張プログラム

学芸員が学校・学校周辺遺跡等に出向いて、学校の要

望に沿ったプログラムを行った。

- 「実物資料で学ぶ昔の歴史」  
日 程：4月12日  
対 象：上作延小学校 109名
- 「実物資料で学ぶ昔の歴史」  
日 程：4月14日  
対 象：平小学校 90名
- 「実物資料で学ぶ昔の歴史」  
日 程：4月15日  
対 象：高津小学校 191名
- 「実物資料で学ぶ昔の歴史」  
日 程：4月20日  
対 象：東高津小学校 167名
- 「実物資料で学ぶ昔の歴史」  
日 程：4月26日  
対 象：さくら小学校 70名
- 「アニメーションの仕組み」  
日 程：10月22日  
対 象：中原中学校 35名
- 総合学習「未来に向かって」  
日 程：平成29年2月16日  
対 象：宮内小学校 41名
- 「歴史に関するまちめぐり」  
日 程：平成29年2月20日  
対 象：西丸子小学校 25名

## ◎職業体験

博物館についてのガイダンス、館内見学、学芸員の仕事、受付監視などを体験した。

- 日 程：通年
- 対 象：主に市内の中学2年生
- 講 師：教育普及担当、担当学芸員
- 参加人数：16校 68名

## ◎学校連携展覧会

- 第59回創造する子ども展  
主 催：川崎市教育委員会、川崎市造形教育連合会、  
川崎市市民ミュージアム  
会 期：11月2日～11月8日  
会 場：企画展示室2  
来 場 者：3,130名
- 第50回川崎市立中学校造形展  
主 催：川崎市教育委員会、川崎市立中学校教育研  
究会美術科部会、川崎市市民ミュージアム  
会 期：11月23日～11月29日  
会 場：企画展示室2

来 場 者：846名

## ◎大学連携

大学など専門的な高等教育機関と連携し、学生が活躍する場を提供する。

- ～TOKAI × MUSEUM GO～ミュージアムで世界旅行  
ユニバーサル・ミュージアム（ひとが優しくなる博物館）の実現を目指すプロジェクト。学芸員を目指す学生たちが、誰もが楽しめるミュージアム・ワークショップの企画・運営を行った。  
日 程：10月23日・11月6日  
会 場：逍遥展示空間 他  
協 力：東海大学課程資格教育センター  
参加人数：延べ294名
- アートツール・キャラバン @2016 川崎市市民ミュージアム  
横浜国立大学教育人間科学部美術教育ゼミナールが開発したアートツールを使用した造形ワークショップを開催した。  
日 程：12月17日・12月18日  
場 所：逍遥展示空間  
対 象：幼児から小・中学生  
協 力：横浜国立大学教育人間科学部A Eゼミ  
参加人数：延べ322名

## (2) 子育て支援

### ◎ママカフェ

幼いころから博物館・美術館に足を運び、文化に親しみを持てるような場を提供する。子育て中の親同士が気軽に集まり、情報を提供・収集する場として活用された。

- 日 程：第1・第3木曜日 延べ17日
- 場 所：ラウンジ
- 対 象：0歳～未就学児
- 参加人数：親子84組 180名
- 見守りのボランティアスタッフ：11名

### ◎ベビーカーツアー

乳幼児がいる保護者の来館を促し、幼児が文化芸術に触れる機会を作ることを目的として実施。親子を対象に、担当学芸員による展示解説を実施した。

- 日 程：通年、企画展ごと計5回実施
- 場 所：企画展示室1・2、アートギャラリー1・2・3
- 対 象：0歳～未就学児の親子
- 参加人数：親子18組 42名
- 見守りのボランティアスタッフ：11名

### (3) ミュージアムプログラム

ミュージアムの収蔵品や展示、研究内容を反映した様々なプログラムを実施し、広く市民に還元する普及活動を行った。

#### ◎博物館プログラム

##### ○古代のアクセサリー 勾玉をつくろう

縄文時代から用いられてきた装身具の一種である「勾玉」を作成した。

日 程：5月3日(午前・午後)

会 場：体験学習室

講 師：担当学芸員

参加料：500円

参加人数：46名

##### ○未来の暮らし「モノ語り」づくりワークショップ

企画展「昔の暮らしと道具 2016」を観覧後、自分がつくりたい未来の暮らしをデジタルと紙のミニ絵本にするワークショップを行った。

日 程：10月15日(午前・午後)

会 場：ミニホール、企画展示室2

講 師：朝倉民枝(株式会社グッド・グリーン  
代表取締役)

参加料：300円

参加人数：16名

##### ○かわさき歴史点描

「古代寺院・影向寺」

南武蔵最古の古代寺院・影向寺について考察した。

日 程：5月1日

会 場：第2研修室

講 師：担当学芸員

参加料：無料

参加人数：29名

「稲毛重成とその時代」

鎌倉幕府の御家人であった稲毛三郎重成の人物像と、平安時代末期に成立した稲毛荘を紹介した。

日 程：9月19日

会 場：第2研修室

講 師：担当学芸員

参加人数：31名

「池上幸豊と砂糖製造」

池上幸豊の砂糖製造に関する実態を紹介した。

日 程：平成29年1月7日

会 場：第2研修室

講 師：担当学芸員

参加人数：29名

##### ○ミュージアム遺跡めぐり「塚越・夢見ヶ崎の遺跡を歩く」

近年発見された塚越古墳、三角縁神獣鏡を出土した白山古墳や加瀬台古墳群、近代考古学の黎明期に発掘された南加瀬貝塚など、川崎南部の代表的な遺跡をめぐった。

日 程：平成29年1月28日

講 師：担当学芸員

参加料：500円

参加人数：20名

##### ○古文書講座「はじめての古文書」

はじめて古文書を読む人のための4回連続入門講座。古文書を読んで、川崎市の歴史について学んだ。

会 場：川崎市大山街道ふるさと館イベントホール

講 師：担当学芸員

参加料：1,000円

参加人数：延べ144名

第1回「中原街道に関する取決め」

日 程：平成29年2月17日

第2回「大野原新田をめぐる証文」

日 程：平成29年2月24日

第3回「二ヶ領用水についての取極め」

日 程：平成29年3月3日

第4回「彦根藩と溝口村」

日 程：平成29年3月10日

##### ○ミュージアム歴史散策「菅村を歩く」

江戸時代の絵図を片手に、旧菅村を歩いた。

日 程：平成29年3月12日

参加料：500円

参加人数：24名

#### ◎美術館プログラム

##### ○アートギャラリー第1期 関連イベント

「流し絵と折り鶴に着彩しよう！」

大きな画用紙に体全体を使いながら、絵の具を流す「流し絵」作りのほか、折り紙で鶴を折り、その上に筆で色づけをし、参加者同士鑑賞しあった。

日 程：4月10日

会 場：逍遥展示空間

講 師：井川惺亮(現代美術家、長崎大学名誉教授)

参加料：300円

参加人数：28名

○企画展 生きるアート 折元立身 関連イベント  
「なんでもキャンバス！身近なものに絵をかいてみよう！」  
粘土で作ったパンや身近なものに絵をかく参加体験型ワークショップを行った。  
日 程：5月5日  
会 場：逍遙展示空間  
講 師：川口珠生(現代美術家)  
参加人数：19名  
料 金：500円

○アートギャラリー第2期 関連イベント  
「対話型鑑賞会」  
アートギャラリーに展示されている作品などを用い、複数の人と対話をしながら芸術作品の理解を深めていく美術鑑賞会を開催した。  
日 程：10月30日・11月27日  
会 場：アートギャラリー1・2・3  
参加人数：延べ19名  
協 力：アート・コミュニケータ東京

## ◎福祉プログラム

○障がい者福祉プログラム  
「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ@川崎市市民ミュージアム」  
—ことばで旅するコレクション—  
アートギャラリー2期「ベスト・セレクション—世界旅行に出かけよう」において、視覚に障がいがある人とな人でグループを作り、対話をしながら作品を鑑賞するプログラムを実施した。  
日 程：11月23日  
会 場：アートギャラリー3  
参加人数：15名

○高齢者福祉プログラム「みんなで考える『ミュージアム・図書館・文化芸術×福祉がひらくユニバーサルな未来』フォーラム&ワークショップ」  
ミュージアム、図書館をはじめとした生涯学習施設が、高齢者福祉に関する地域の社会的課題／ニーズ(認知症などの介護予防)に、どのような貢献が可能であるのか、また、当館の福祉プログラムの総括と今後に向けた提言を行うシンポジウムを行った。  
日 程：平成29年3月12日  
会 場：中原区役所501会議室  
登壇者：湯浅真奈美(ブリティッシュ・カウンシル)  
角野孝一(川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 認知症・医療支援担当)

舟田彰(川崎市立宮前図書館)、小林芳(川崎市宮前市民館)  
教育普及担当職員、内田美由紀(ケアネット 川崎サービスセンター)  
参加人数：39名

## ◎夏休み子どもミュージアム

○ワークショップ「シルクスクリーンでオリジナルグッズをつくろう！」  
Tシャツやハンカチなどに、好きな図柄をシルクスクリーンでプリントした。  
日 程：7月23日・7月30日  
会 場：アトリエ  
講 師：長谷川文子(版画家)  
参加料：1,000円  
参加人数：延べ21名

○紙漉きの師匠に教わる！紙漉き体験ワークショップ  
日本の伝統的な和紙を原料の植物「楮」をたたいて繊維をほぐすところから紙を漉くまでを行った。  
日 程：8月6日(午前・午後)  
会 場：体験学習室  
講 師：田村正(紙漉き師)  
参加料：500円  
参加人数：延べ29名

## ◎ミュージアム講座

市民ミュージアムの研究分野、収蔵資料などについて、分かりやすく解説する講座を開催した。  
会 場：かわさき市民活動センター会議室A・B  
○第1回「川崎市の古代中世の古寺と仏像」  
日 程：平成29年2月5日  
講 師：薄井和男(神奈川県立歴史博物館館長)  
参加人数：25名  
○第2回「東京オリンピックとかながわ」  
日 程：平成29年2月26日  
講 師：寺寄弘康(神奈川県立歴史博物館学芸部長)  
参加人数：16名  
○第3回「ビゴー『トバエ』の全体像」  
日 程：平成29年3月5日  
講 師：清水勲(漫画・諷刺画研究家)  
参加人数：17名

## ◎アトリエ一般開放

版画の普及を目指し、シルクスクリーンとリトグラフで制作活動をしている人を対象に、アトリエを一般開放

し、市民活動の場を提供する事業を平成25年度から開始した。一般開放日にはアトリエ指導員が常駐し、利用者のサポートやプレス機・感光機等のメンテナンスを行った。また、指導員は初心者対象講座の講師も務めた。指導員には、制作活動支援を目的に若手版画家を起用し、アトリエを自主制作の場として提供した。年末には、ミュージアムギャラリーで指導員の成果発表となる展覧会を開催した。

#### 【一般開放】

日 程：4月10日～平成29年1月15日の毎週日曜日  
計38日／76コマ  
午前の部10:00～13:00、午後の部13:30～16:30  
会 場：アトリエ  
指 導 員：米澤寛子  
利 用 料：1コマ1,300円  
利用人数：延べ211名

#### 【初心者対象講座】

##### ○「リトグラフ初心者のための2日間連続講座」

日 程：6月18日・6月19日  
会 場：アトリエ  
講 師：米澤寛子  
参 加 料：3,000円  
参加人数：9名

##### ○「シルクスクリーン初心者のための2日間連続講座」

日 程：6月25日・6月26日  
会 場：アトリエ  
講 師：畠山美樹(版画家・前アトリエ指導員)  
参 加 料：3,000円  
参加人数：9名

#### 【成果発表展】

##### ○第4回版画アトリエ一般開放アトリエ指導員展

「そこにある場所」

版画アトリエ一般開放の指導員、米澤寛子の作品発表展を開催した。身近なできごとや、感情、記憶をモチーフに、リトグラフ表現の可能性を探った。

会 期：11月26日～12月11日  
会 場：ミュージアムギャラリー2  
観 覧 料：無料

#### ○関連イベント

「オープンスタジオ&アーティストトーク」

日 程：11月26日  
会 場：ミュージアムギャラリー2、アトリエ  
出 演：米澤寛子  
参 加 料：無料  
参加人数：14名

## (4) さまざまな団体と新たな連携

### ◎地域連携事業

川崎市内の市民団体「川崎おやじ連」と市民ミュージアムの連携事業を実施した。

主 催：川崎おやじ連  
共 催：川崎市市民ミュージアム

#### ○おやじ de ミュージアム

各団体が、昔ながらの遊びや工作を体験できるブースを出店し、子どもから大人まで誰でも参加できるイベントを実施した。

日 程：7月16日  
場 所：逍遙展示空間  
講 師：おやじ考、いたか、しらはた21、ま・いい会、  
おいでよ会、川崎パパ塾から33名  
参加人数：322名

#### ○お正月 de ミュージアム

凧や羽子板作りなどのお正月の遊びや工作を体験できるイベントを実施した。

日 程：平成29年1月8日  
場 所：逍遙展示空間他  
講 師：おやじ考、いたか、しらはた21、ま・いい会、  
おいでよ会、川崎パパ塾から31名  
参加人数：230名

### ◎ワンミニットムービー 冒険物語をつくろう

小学生を対象として、タブレット端末を活用した1分間の映画制作ワークショップを一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムと連携して実施した。

主 催：一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム  
共 催：川崎市市民ミュージアム、株式会社教育と探求社  
日 催：5月8日・8月21日・12月11日  
会 場：映像ホール、ミニホール、逍遙展示空間  
参加人数：延べ60名

## (5) ボランティア活動

ミュージアムとの協働により、ミュージアムの事業をサポートするとともに、ボランティアが主体となる自主活動を企画し実施した。

### ◎スクールプログラムサポート

社会科教育推進事業をはじめとした、スクールプログラムで来館する児童の見学時のサポートを行った。

全 78 回

活動参加人数：104 名（登録者数 20 名）

### ◎イベントサポート

ミュージアム主催のイベント、ワークショップや講座等のサポート。

全 58 回

活動参加人数：66 名（登録者数 29 名）

### ◎チャイルドサポート

ママカフェ、ベビーカーツアーのサポート。ママカフェは毎月第 1・3 木曜日、ベビーカーツアーは企画展ごとに実施した。

全 22 回

活動参加人数：37 名（登録者数 11 名）

### ◎展示ガイド（博物館展示室みどころガイド）

博物館展示室の常設の収蔵品についてのガイドを行った。毎月第 2・4 日曜日に実施。

全 54 回

活動参加人数：54 名（登録者数 18 名）

### ◎展示ガイド（アートみどころガイド）

常設オブジェとアートギャラリーについてのガイドを行った。毎月第 1・3・5 日曜日に実施。

全 59 回

活動参加人数：59 名（登録者数 17 名）

### ◎ワークショップ

ミュージアムの収蔵品や展示に関連したワークショップを館内と川崎市立川崎病院で行った。

全 11 回

活動参加人数：64 名（登録者数 26 名）

### ◎企画・運営

ボランティア主体となった企画の提案や運営を行った。

全 10 回

活動参加人数：61 名（登録者数 14 名）

### ◎ボランティア募集

前年度 3 月から新規ボランティアの募集を行い、19 名が新規に登録した。

ボランティアスタッフ登録人数 73 名（平成 29 年 3 月 31 日解散）

### ◎研修、その他

#### ○ボランティア研修

「新規ボランティア研修」、「グループ別研修」、「フォローアップ研修」を実施した。

#### ○ボランティアデー

展示ガイドやワークショップ等の、ボランティア活動を 1 日で体験できるイベントを実施した。

日 程：10月16日

会 場：逍遙展示空間他

参加人数：376 名

ボランティア参加人数：38 名

#### ○ボランティア対象内覧会

ミュージアム主催企画展の内覧会を、友の会と合同で実施した。

## 2 実習生の受け入れ

### (1) 博物館担当

#### ◎館内実習（博物館担当）

9月6日～9月16日

立正大学 1名

駒澤大学 1名

鶴見大学 1名

大正大学 1名

東洋大学 1名

共立女子大学 1名

#### ◎館内実習（美術館担当）

7月26日～8月6日

学習院大学大学院 1名

日本映画大学 1名

明治学院大学 1名

東京工芸大学 1名

女子美術大学 1名

### (2) インターンシップ

7月3日～12月20日

鶴見大学 1名

9月29日～12月15日

日本映画大学 1名

## 3 イベント

逍遙展示空間でのコンサート等、来館者が気軽に参加

したり、楽しんだりできるイベントを開催し、市民ミュージアムの活動をより広い層に紹介している。

### ◎プロムナードコンサート

来館者が展示を鑑賞する間に気軽に楽しんでもらうコンサートを開催した。

### ○サマーコンサート

日 程：8月27日  
会 場：逍遙展示空間  
出 演：パーカッショングループマーブル  
海野茜 / マリンバ  
木村奏子 / マリンバ  
岡本夕佳 / スティールパン  
小畑寛 / ドラム

参加人数：100名

### ○クリスマスコンサート

日 程：12月10日  
会 場：逍遙展示空間  
出 演：Les Vents Japonais (レ ヴァン ジャポネ)  
樋口裕香 / フルート  
椎野未花 / オーボエ  
川越あさみ / クラリネット  
加治祐子 / ホルン  
松尾純 / ファゴット

参加人数：130名

## 4 広報活動

市民ミュージアムの活動を市民の方々に理解していただくため、また、市民ミュージアムで開催される催し物をより多くの人に認知していただき来館していただくための活動を行っている。

### (1) 定期刊行物の作成と配布

下記の刊行物を市内の市民館、図書館、文化施設、情報プラザ、学校関係等および市外の類似施設、マスコミ関係等に配布した。

#### ○『ミュージアムニュース 97号・98号・99号』

〔仕様〕A4判 8頁

〔発行〕年3回 各5,000部発行(98号のみ7,000部)

#### ○『ミュージアムカレンダー』

〔仕様〕524×297mm 6ツ折

〔発行〕年6回 各20,000部発行

#### ○『映画 特集上映チラシ』

〔仕様〕A4判 4頁

〔発行〕計7回 各12,000部発行

### (2) マスコミへの情報提供

新聞・雑誌・テレビなどのマスコミで紹介されることによる広報効果は非常に大きく、各種媒体との継続的・良好な関係を維持することは重要である。市民ミュージアムでのさまざまな企画事業を紹介するため300～350社に対して継続的にプレスリリースを行っている。

### (3) 企画展等の広報

各種企画事業のうち、企画展や企画上映など規模の大きな事業に関しては、3ヶ月前から広報計画を立て、各担当者と協力して広報活動を行っている。

ポスター、チラシの配布先も事業の内容に合わせて、その都度調整している。それぞれの事業に関しては、各種媒体に掲載された記事を整理し、報告書を作成し、以後の事業の展開および効果的な広報活動の実施に役立てている。

その他に、川崎市と連携した広報活動や、館内外の広報掲示板の管理を行う等、地域に根ざした広報を心がけている。

### (4) ホームページ・SNSの運用

ホームページ・SNSを利用し、展覧会・イベント情報等を迅速に情報発信している。

また、ホームページについてはイベント申し込みにも活用するなど、利用者にとってより使い易いものとなるような運用を行っている。

## 5 友の会

友の会は、市民ミュージアムの事業に協力し、地域の文化・芸術の振興を図る団体で、企画部、総務部、広報部の3つの部と4つの学習部会で構成されている。

友の会役員と市民ミュージアム職員による連絡会を毎月1回開催し、課題や今後のあり方について検討を重ねた。

平成28年12月17日解散。

正会員80名、賛助会員1名

### (1) 会議

#### ◎総会

日 程：5月14日

場 所：第2研修室  
議 案：平成27年度活動報告、収支決算報告及び会計  
監査報告並びに平成28年度活動計画など

内 容：「アメリカ大統領と現代の記録」をメインテーマ  
に設定し、世界史についてDVDを通じて学習  
した。

#### ◎役員会

例 会：毎月第4土曜日  
場 所：活動普及室  
出 席 者：会長、副会長、会計、会計監査並びに総務部、  
企画部、広報部及び学習部会（古文書講読・  
写真・映像・版画）の代表者

#### ◎版画部会

例 会：毎月第1土曜日、第2・4金曜日、第3水曜日  
会 場：アトリエ  
会員数：8名  
内 容：シルクスクリーン版画と銅版画を制作した。

## (2) 活動報告

#### ◎総務部

発送業務、ミュージアム主催のビデオ上映会への協力、  
会費納入管理、会員の募集・PR業務、会員に対する諸通  
知の管理などの庶務事項一般を担当した。

#### ◎企画部

企画展への参加呼びかけ、他館見学を企画・実施した。

##### ○他館見学

日 程：8月26日  
内 容：江戸東京博物館見学

#### ◎広報部

会報「友の会」を年2回及び月刊「友の会だより」を  
発行した。また、友の会 web（ホームページ）を運営した。

## (3) 学習部会

#### ◎歴史部会（古文書を読む会）

例 会：毎月第4水曜日  
会 場：市民活動センター  
会員数：7名  
内 容：当地の地方古文書等を講読し、会員相互で議  
論を行った。

#### ◎写真部会

例 会：毎月第3日曜日  
会 場：活動普及室等  
会員数：6名  
内 容：会員が撮影した作品の鑑賞、情報交換、写真  
展見学、撮影会を開催した。

#### ◎映像部会

例 会：毎月第3木曜日  
会 場：ミニホール  
会員数：6名

# 資料

## 川崎市市民ミュージアム条例

昭和62年12月22日  
条例第 45 号

### (目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)を設置する。

### (位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

### (事業)

- 第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。
- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品(以下「資料等」という。)の収集、保管、展示等を行うこと。
  - (2) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
  - (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
  - (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
  - (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
  - (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
  - (7) 施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。

### (指定管理者)

第 3 条の 2 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの(以下「指定管理者」という。)に市民ミュージアムの管理を行わせる

- (1) 市民ミュージアムの管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、市民ミュージアムの効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った市民ミュージアムの管理を安定して行う能力を有すること。
  - 2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。
  - 3 市長は、第 1 項の指定をしたときは、その旨を告示する。

### (指定管理者が行う管理の基準)

第 3 条の 3 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規

定に従い、市民ミュージアムの管理を行わなければならない。

### (指定管理者が行う業務の範囲)

第 3 条の 4 指定管理者は、資料等の収集、保管、展示等を行う業務その他の市民ミュージアムの管理のために必要な業務を行わなければならない。

### (利用時間及び休館日)

第 4 条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

利用時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。) (2) 休日の翌日(土曜日、日曜日及び休日を除く。) (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日(前 2 号に掲げる日を除く。)

### (観覧料)

第 5 条 市民ミュージアムが行う企画展の展示会場へ入場しようとする者は、指定管理者に観覧料を支払わなければならない。

- 2 観覧料の額は、別表第 1 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 3 観覧料は、指定管理者の収入とする。

### (特別利用)

第 6 条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、指定管理者に特別利用料を支払わなければならない。
- 3 前項の特別利用料は、前払しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他指定管理者が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。
- 5 特別利用料の額は、別表第 2 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 6 特別利用料は、指定管理者の収入とする。

### (施設等の利用許可)

第 7 条 別表第 3 に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

### (施設等の利用料金)

第 8 条 前条の許可を受けた者(以下「施設等利用者」という。)は、指定管理者に利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。

- 2 利用料金は、前払しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 3 利用料金の額は、別表第3に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(施設等の利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不適当であると認めるときは、第7条の許可をしない。

(施設等の利用許可の取消し等)

第10条 指定管理者は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認める場合は、第7条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 利用の目的に反したとき。
- (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
- (3) 偽りその他不正な行為により第7条の許可を受けたとき。
- (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
- (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
- (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(施設等の変更禁止)

第11条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第12条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復)

第13条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第7条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限され、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第14条 市及び指定管理者は、第10条第5号に該当する場合を除き、第7条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者に生じた損害については、その責めを負わない。

(観覧料等の減免)

第15条 指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準に従い、第5条第1項に規定する観覧料、第6条第2項に規定する特別利用料及び利用料金(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の返還)

第16条 既に支払われた観覧料等は、返還しない。ただし、指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準に従い、その全部又は一部を返還することができる。

(入館等の制限)

第17条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第18条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第19条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和63年10月7日規則第85号で昭和63年11月1日から施行)

附 則(平成6年10月7日条例第30号)

この条例は、平成6年10月17日から施行する。

附 則(平成12年12月21日条例第78号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年9月30日条例第87号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年6月28日条例第53号)

この条例は、平成18年10月1日から施行する。ただし、第5条及び別表第1の改正規定並びに別表第2の次に1表を加える改正規定(展示室及び逍遙展示空間に係る部分に限る。)は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則(平成27年3月23日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第16条、第17条及び第20条の規定 平成27年5月1日

(2) 第3条の規定 平成27年6月1日

(3) 第19条の規定 平成27年7月1日

(4) 第7条の規定 平成28年4月1日

(5) 第12条、第14条及び第15条の規定 平成28年5月1日

(6) 第2条、第4条、第11条、第13条及び第18条の規定 平

成28年6月1日

(7) 第6条の規定 平成28年9月1日

(8) 第5条の規定 平成28年10月1日

(9) 第8条の規定 平成28年11月1日

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第3条の次に3条を加える改正規定（第3条の2（指定管理者に市民ミュージアムの管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に効力を有する市長の行った利用許可その他の行為で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において改正後の条例（以下「新条例」という。）の規定により当該行為に相当する行為を行うべきものが新条例第3条の2第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）となるものは、施行日以後においては、指定管理者の行った利用許可その他の行為とみなす。
- 3 改正前の条例の規定により発行された共通利用券又は特別入場券については、新条例別表第1の規定にかかわらず、施行日以後引き続き使用することができる。

別表第1（第5条関係）

1 普通観覧料

単 位	金 額
1人1回	2,000円

2 共通利用券

種 別	金 額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

- (1) 市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場
- (2) 川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号）に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
- (3) 川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧
- (4) 川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

指定管理者は、7,000円の範囲内であらかじめ市長の承認を得て、定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2（第6条関係）

区 分	単 位	特別利用料
熟 覧	1点 1日	200円
模 写		1,000円
模 造		1,000円
拓 本		1,000円
撮 影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

別表第3（第7条、第8条関係）

1 施設使用料

種 別	金 額			
	午前9時30分から午後0時30分まで	午後1時30分から午後5時まで	午前9時30分から午後5時まで	
ホ ール	映像ホール	7,800円	9,100円	16,900円
	ミニホール	3,000円	3,500円	6,500円
研 修 室	研修室1	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室2	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室3	1,200円	1,400円	2,600円
展 示 室	企画展示室1			46,500円
	企画展示室2			45,000円
	アートギャラリー			75,000円
	多目的ギャラリー1			9,000円
	多目的ギャラリー2			7,500円
逍遙展示空間	30分につき		2,300円	

備考

- 1 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設利用料の額は、規定使用料の2割増相当額とする。
- 2 ホール、展示室又は逍遙展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設使用料の額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定利用料（前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額）に増額の割合を乗じて得た額とする。

入場料金	増額の割合
1,000円未満	15割
1,000円以上 3,000円未満	20割
3,000円以上	30割

- 3 第4条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間（午後5時から午前9時30分までの時間に限る。）に利用するときの施設利用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）の規定利用料（前2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項において同じ。）の30分当たりの額の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）、展示室を利用する場合にあっては利用日の午前9時30分から午後5時までの利用時間の区分の規定利用料の30分当たりの額の2割増相当額（10

# 川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成22年3月31日

規則第36号

円未満の端数は、切り捨てる。)、逍遥展示空間を利用する場合にあっては規定利用料の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。

- 4 午後0時30分から午後1時30分までの時間（以下「中間時間」という。）においてホール又は研修室を利用する場合（午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）又は午後の区分を利用する場合に限る。）の施設利用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、午前の区分の規定利用料（第1項又は第2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額）の30分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設利用料は、無料とする。

## 2 設備使用料

単 位	金 額
1式、1本、1組、1台、 1張、1双、1個、1枚、 1キロワットその他1単位 1回	10,000円

### 備考

- 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあっては午前の区分、午後の区分をそれぞれ1回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあっては4時間までごとに1回として扱う。
- 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後5時から午前9時30分までの時間に利用する場合の設備利用料の額は、4時間までごとに1回として扱う。
- 映像ホール、ミニホール又は研修室を中間時間において利用する場合の設備利用料の額は、30分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定利用料の30分当たりの額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備利用料は、無料とする。

### (趣旨)

第1条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年川崎市条例第45号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

### (公告)

第1条の2 市長は、条例第3条の2第1項の規定により川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- 条例第3条の2第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲
- 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）
- 条例第3条の2第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法
- 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項。

### (事業計画書等の提出)

第1条の3 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第3条の2第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- 指定予定期間に属する各年度の市民ミュージアムの管理に係る事業計画書及び収支予算書
- 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- 役員の名簿及び履歴書
- 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- 現に行っている業務の概要を記載した書類
- 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

### (指定管理予定者)

第1条の4 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第3条の2第1項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、条例第3条各号に掲げる事業を行う上で最も適切と認める法人等を指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等

を指定管理予定者とする。

- 3 市長は、前条第1項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前2項の指定管理予定者がないときは、再度、第1条の2の規定による公告を行う。

(通知)

第1条の5 市長は、条例第3条の2第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書(第1号様式)により通知する。

(協定)

第1条の6 指定管理者は、市長と市民ミュージアムの管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 利用許可に関する事項
- (3) 観覧料に関する事項
- (4) 条例第7条に規定する特別利用(以下「特別利用」という。)に係る料金に関する事項
- (5) 利用に係る料金に関する事項
- (6) 管理に要する費用に関する事項
- (7) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (8) 管理の業務の報告に関する事項
- (9) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (10) 川崎市契約条例(昭和39年川崎市条例第14号)に規定する作業報酬に関する事項
- (11) その他市長が必要と認める事項

(事務の委任)

第2条 次に掲げる事務は、川崎市市民ミュージアム館長(以下「館長」という。)に委任する。

- (1) 特別利用の許可、許可の取消し等に関する事。
- (2) 条例第8条の規定による施設等(条例第3条第7号に規定する施設等をいう。以下同じ。)の利用の許可(以下「利用許可」という。)に関する事。
- (3) 条例第10条の規定による施設等の利用許可の制限に関する事。
- (4) 条例第11条の規定による施設等の利用許可の取消し等に関する事。
- (5) 条例第17条に規定する観覧料等(以下「観覧料等」という。)の減額又は免除に関する事。
- (6) 条例第18条の規定による観覧料等の還付に関する事。
- (7) 条例第19条の規定による入館等の制限に関する事。

(観覧券等の交付)

第3条 館長は、条例第6条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第4条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券

(3) 優待券

(4) 前売券

- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第5条 条例第7条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書(第1号様式の2)をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書(第2号様式)を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する資料等(以下「資料等」という。)の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの(以下「模写資料等」という。)を展示し、又は出版物等に掲載するときは、市民ミュージアムの所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第6条 館長は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
  - (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
  - (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
  - (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第7条 条例第8条の規定により施設等の利用許可を受けようとする者は、施設等利用許可申請書(第3号様式)を館長に提出しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第8条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定めるところによる。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあつては、利用日又は利用開始日(連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。)の属する年度の前年度の4月1日から利用日の1月前まで申請することができる。
- (2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあつては、利用日又は利用開始日の属する月の6月前の月の初日から利用日の14日前まで申請することができる。

- (3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日の3日前まで申請することができる。
- (4) 前2号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第1号の規定を準用する。
- (5) 第3号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第2号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第9条 館長は、施設等の利用許可をしたときは、当該申請をした者に施設等利用許可書（第4号様式）を交付するものとする。

(施設等使用料の納付)

第10条 条例別表第3の1に規定する施設使用料及び同表の2に規定する設備使用料（以下「施設等使用料」という。）は、館長が指定する日までに納付しなければならない。

- 2 前項の施設等使用料の納付方法は、川崎市金銭会計規則（昭和39年川崎市規則第31号）の定めるところによる。

(設備使用料)

第11条 条例別表第3の2の規定に基づき、市長が定める設備使用料は、別表のとおりとする。

(特別の設備の付設等)

第12条 条例第12条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、特別設備等許可申請書（第5号様式）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の申請書は、施設等利用許可申請書と同時に提出しなければならない。
- 3 施設等の利用許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）が、第1項の許可を受けて施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

(施設等利用中止の届出)

第13条 施設等利用者が、その利用を中止しようとするときは、施設等利用中止届出書（第6号様式）を館長に提出しなければならない。

(利用期間等の制限)

第14条 館長は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

(観覧料等の減免)

第15条 条例第17条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼

稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

エ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(3) 施設等使用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額

イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額

ウ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第7号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第8号様式）を、前項第3号の規定による施設等使用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては施設等使用料減免申請書（第9号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料等の還付)

第16条 条例第18条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場

合 観覧料又は特別利用料の全額

- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額
- (3) 条例第 11 条第 4 号又は第 5 号の規定により、館長が利用許可を取り消した場合 施設等使用料の全額
- (4) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の 6 月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (5) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の 3 月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の 5 割相当額
- (6) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の 1 月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (7) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の 14 日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の 5 割相当額
- (8) 企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の 3 日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の 6 月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の 3 月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の 5 割相当額
- (11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の 1 月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の 14 日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の 5 割相当額
- (13) 前各号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

- 第 17 条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
  - (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
  - (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
  - (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

- (5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。
- (6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。
- (7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。
- (10) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(整理員の配置)

第 18 条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のため必要な整理員を置かなければならない。ただし、館長が必要がないと認める場合は、この限りでない。

(管理上の入室)

第 19 条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第 20 条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに館長に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第 21 条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係員に報告し、その点検を受けなければならない。

(委任)

第 22 条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市市民ミュージアム協議会規則（平成 18 年川崎市教育委員会規則第 9 号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第 15 条第 1 項第 1 号ア及び第 26 条の改正規定は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則

この規則は、平成 28 年 6 月 1 日から施行する。

## 企画展一覧（開館～平成27年度）

### 昭和 63 年度

1. モンパルナスの大冒険 1988.11.1 ~ 12.11
2. 子ども風土記 12.17 ~ 1989.1.16
3. グラフィック・パワー展 1.21 ~ 2.12
4. 岡本かの子の世界展 2.18 ~ 3.19
5. 写真家・濱谷浩展 3.25 ~ 4.23

### 平成元年度

6. リュブリアナ国際ビエンナーレ日本展 4.29 ~ 6.11
7. 笑いの世界・世界の漫画展 7.8 ~ 8.13
8. 閻魔登場 8.22 ~ 9.24
9. TREND'89 現代写真の動向展 9.30 ~ 10.22
10. アガム展 10.28 ~ 12.17
11. 写真展 記憶の記念日（よみうり写真大賞 10年の歩みから） 1990.1.4 ~ 2.12
12. 藤ノ木古墳とその時代展 2.27 ~ 4.5

### 平成 2 年度

13. 女性のまなざしー日本とドイツの女性写真家たちー 4.10 ~ 4.22
14. 昭和のマンガ展 4.28 ~ 6.10
15. 円鋸勝三 彫刻展 6.20 ~ 7.22
16. ミュージアムコレクション展 8.4 ~ 9.16
17. 木簡ー古代からのメッセージー 10.9 ~ 11.12
18. ー佐藤惣之助生誕百年記念ー多彩な惣之助展 11.21 ~ 12.24
19. 近代芸術の諸相 PART I 1991.1.19 ~ 2.24
20. 近代芸術の諸相 PART II 3.1 ~ 4.14

### 平成 3 年度

21. 岡本太郎展 4.27 ~ 6.23
22. 縄文文化の交流展 7.13 ~ 8.25
23. 道祖神の源流 9.7 ~ 10.20
24. 色相の詩学展ー現代絵画・平面からのメッセージー 11.2 ~ 12.15
25. '92 ミュージアムコレクション展 1992.1.4 ~ 2.23
26. アン・リベルテー現代フランスの写真展ー 3.6 ~ 3.29

### 平成 4 年度

27. 棟方志功展 4.18 ~ 6.14
28. ネイチャーワールド 動物写真家・岩合光昭の世界展 7.4 ~ 8.16
29. 版画にみるポップアートとその周辺展 8.22 ~ 9.27
30. 写真展 ルイス・ボルトツ：法則 10.10 ~ 11.23
31. オキナワ展 1993.1.10 ~ 2.14
32. 原田泰治アメリカに行く 3.2 ~ 3.28

### 平成 5 年度

33. T A R O 萬華鏡 4.24 ~ 7.4

34. 妖怪展ー現代に蘇る百鬼夜行 7.24 ~ 8.29
35. ルーアン美術館展 フランス絵画ー黄金の19世紀 10.16 ~ 11.14
36. 鳥山明の世界展 12.4 ~ 1994.1.30
37. バウハウスー芸術教育の革命と実験ー 2.12 ~ 3.27

### 平成 6 年度

38. 東海道ー東と西の交歓ー 4.16 ~ 5.29
39. 岩下哲士 美の世界展 6.25 ~ 8.5
40. 「川崎の文化財」展 8.27 ~ 10.10
41. 生誕 100 年記念 濱田庄司展 10.29 ~ 12.11
42. 「弥生の食」展 1995.1.21 ~ 3.12

### 平成 7 年度

43. 安野光雄の世界展 4.22 ~ 6.11
44. 映画生誕 100 年記念展ーシネマの世紀ー 7.22 ~ 9.17
45. 海と人生ー川崎で海苔が採れた頃ー 10.3 ~ 11.12
46. 現代写真の動向 ANOTHER REALITY 11.21 ~ 1996.1.28
47. 愛する人々への熱いメッセージ シャガールの傑作版画展 2.10 ~ 4.7

### 平成 8 年度

48. アジアの民族造形ー衣・食・住・祈り・学び・芸能・遊びー 4.27 ~ 6.16
49. 日本の漫画 300 年 7.20 ~ 9.8
50. 弘法大師信仰展 10.5 ~ 11.10
51. ドイツ現代写真展 遠・近 ベツヒャーの地平 11.24 ~ 1997.1.26
52. マリー・ローランサン展 3.18 ~ 4.15

### 平成 9 年度

53. 没後 20 年 中村正義展 4.26 ~ 6.1
54. 怪獣ミュージアム 開田裕治の世界〔KAIJUーガンダム〕 7.19 ~ 8.31
55. ー現代マンガのバイオニアー没後 50 年岡本一平展 9.20 ~ 11.3
56. バウハウスの写真展 11.23 ~ 1998.2.1
57. 世紀末芸術の華 オーブリー・ピアズリー展 2.21 ~ 4.5

### 平成 10 年度

58. ー写生・下絵を中心としたー 安田靉彦展 4.11 ~ 5.24
59. 少女まんがの世界展ー女性作家 8 人のまなざしと表現ー 8.15 ~ 9.27
60. ミュージアムコレクション展 I メディアと大衆 10.3 ~ 11.15
61. ミュージアムコレクション展 II 博物館の眼 11.21 ~ 12.20
62. 大ザビエル展ーその生涯と南蛮文化の遺宝ー

1999.1.15 ~ 3.14

4.3 ~ 5.30

## 平成 11 年度

63. ミュージアムコレクション展Ⅲ 芸術都市へ・かわさき  
4.24 ~ 6.6
64. 木村伊兵衛写真賞の軌跡  
6.20 ~ 8.1
65. ホイッスラーからウォーホールまで  
- 版画に見るアメリカ美術の 100 年 -  
8.14 ~ 9.19
66. アンセル・アダムスの世界  
10.26 ~ 12.12
67. 大江戸マルチ人物伝 - 池上太郎左衛門幸豊 -  
2000.2.26 ~ 4.9

## 平成 12 年度

68. グラフィック・デザインのモダニズム展  
- 20 世紀・機械時代のグラフィック革命 -  
4.22 ~ 6.11
69. アニメ黄金時代  
7.15 ~ 8.31
70. 縄文の華  
9.9 ~ 10.22
71. 陰翳礼讃 フランスの現代写真  
- ジャン=クロード・ルマニーの視点 -  
11.3 ~ 12.17
72. 新世紀元年 1901 / 2001  
2001.1.27 ~ 3.25

## 平成 13 年度

73. 呪いと占い  
4.28 ~ 6.10
74. 偶然の振れ幅 amplitude of chance  
- 「出来事の成り立ち」を記述する美術 -  
7.20 ~ 8.26
75. 東海道宿駅制度 400 年記念  
東海道 - 日本橋、そして川崎宿へ -  
9.15 ~ 10.21
76. outer ⇄ inter 現代写真の動向 2001  
11.3 ~ 12.24
77. 明治の版画 - 岡コレクションを中心に -  
2002.2.9 ~ 3.31

## 平成 14 年度

78. 森村泰昌写真展「女優家Mの物語」  
~ M 式ジオラマ (25m) 付き ~  
4.27 ~ 7.7
79. 明治の面影・フランス人画家ビゴーの世界展  
9.7 ~ 10.27
80. 夢幻巡礼 映画美術監督・木村威夫の世界展  
11.23 ~ 2003.1.19
81. ポスターのユートピア  
ロシア構成主義のグラフィックデザイン  
2.15 ~ 4.6

## 平成 15 年度

82. 古代を考える I - 郡の役所と寺院 -  
4.19 ~ 6.15
83. フランスコミック・アート展  
7.5 ~ 8.31
84. 光の狩人 森山大道 1965 - 2003  
9.13 ~ 11.3
85. フェスタ! 川崎フロンターレ - 戦いの軌跡 -  
12.6 ~ 12.27
86. 開館 15 周年記念特別企画  
「わが家の宝物・わたしの宝物」展  
2004.1.24 ~ 3.21

## 平成 16 年度

87. 街角に咲いた芸術 ~ 世紀末フランスの華麗なポスター ~

88. 日本の幻獣 - 未確認生物出現録 -  
7.3 ~ 9.5
89. 21 世紀の本居宣長 - 学問・交流・情報 -  
9.18 ~ 11.7
90. Let's Go! 川崎フロンターレ - J1 昇格への道 -  
12.4 ~ 2005.1.10
91. CLAMP 四 MANGA アートは時空を超える  
2005.1.22 ~ 4.10

## 平成 17 年度

92. 時代を切り開くまなざし - 木村伊兵衛写真賞の 30 年 -  
1975 - 2005  
4.23 ~ 6.19
93. ロシア民族学博物館アイヌ資料展  
- ロシアが見た島国の人びと -  
7.2 ~ 8.28
94. アメリカ展帰国記念  
川崎・砂子の里資料館所蔵 浮世絵名品展  
9.17 ~ 10.16
95. 大 OH! 水木しげる展  
11.19 ~ 2006.1.9
96. メイド・イン・カワサキ展  
第 1 部「川崎モノづくり物語」  
1.21 ~ 2.26  
第 2 部「都市・川崎を創造する - メイド・イン・カ  
ワサキ現代美術賞展 -」  
3.11 ~ 4.2

## 平成 18 年度

97. 「弥生・古墳・飛鳥を考える - 古墳の出現とその展開 -」  
4.29 ~ 6.25
98. 名取洋之助と日本工房 1931 - 1945  
7.8 ~ 9.3
99. レイモン・サヴィニャック展  
9.16 ~ 11.5
100. 「横山光輝の世界展」  
11.18 ~ 2007.1.8
101. みんなのドラえもん展 - 魅力のひみつ -  
1.20 ~ 2.25

## 平成 19 年度

102. 昭和ブギウギ 1945-64  
4.21 ~ 6.3
103. 韓国現代マンガ展  
4.21 ~ 6.3
104. 安彦良和原画展「勇者ライディーン」から  
「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」へ  
6.16 ~ 8.19
105. こどもの毎日 - みんなこうして大きくなった -  
7.14 ~ 8.19
106. 産業都市・カワサキのあゆみ 100 年  
9.1 ~ 10.14
107. 「つわもの」どもの光と影 - 稲毛三郎とその時代 -  
10.27 ~ 12.9
108. みんなのデザイン - グッドデザインと私たちの生活 -  
10.27 ~ 12.16
109. 斎藤寿一展 青・風・宙の版画  
12.23 ~ 2008.1.27
110. 川崎が生んだ世界の人形作家  
与勇輝 - 神様のすみか展  
2008.1.12 ~ 2.3
111. 昔のくらし・今のくらし  
2.9 ~ 3.30
112. 少女マンガパワー! - つよく・やさしく・うつくしく -  
2.16 ~ 3.30

## 平成 20 年度

113. オキナワ / カワサキ - 二つの地をつなぐ人と文化 -  
4.26 ~ 6.8

114. ブルーノ・ムナーリのアートとあそぼう！  
～みてさわってたのしんで～ 7.12～8.31
115. くらしと着物展 7.19～8.28
116. 開館20周年記念「人間国宝 濱田庄司」展  
10.4～11.30
117. 開館20周年記念「ともに生きる－欲望・矛盾・創造－  
都市・自然・人・食・メディア」展 10.23～12.7
118. 広重「名所江戸百景」の世界  
－江戸の人たちの名所感覚－展 12.13～2009.1.12
119. 複々製に進路をとれ 栗津潔60年の軌跡 1.24～3.29
120. 昔の暮らし・今の暮らし2009 1.27～4.5
121. 川崎ぐるっと博物館 2008.5.15～12.7

### 平成21年度

122. 横浜開港150周年 幕末明治期の川崎とニッポン  
4.18～6.7
123. 星野富弘展－一枝の花とはいえ－ 6.6～6.28
124. ハービー山口写真展 ポートレイツ・オブホープ～  
この一瞬を永遠に～ 6.20～8.16
125. サンデー・マガジンのDNA展 7.18～9.13
126. 川崎・縄文・1万年－大地に刻まれた生活と温暖化－  
8.29～10.12
127. 灯りの情景展－灯りと人の物語－  
10.24～2010.1.11
128. 2009川崎フロンターレ 12.12～2010.1.11
129. 昔の暮らし今の暮らし2010  
－くらしの道具のうつりかわり－展 1.19～4.4
130. 第43回かわさき市美術展 2.5～2.27
131. 安田鞞彦展－歴史画誕生の軌跡－ 3.13～4.18

### 平成22年度

132. 横山裕一 ネオ漫画の全記録  
：「わたしは時間を描いている」 4.24～6.20
133. 絵図でめぐる川崎失われた景観をさぐる展  
7.17～9.5
134. まど・みちお え てん  
－ある詩人の100年の軌跡、童謡・抽象画・詩－展  
8.21～10.3
135. アイヌ－美を求める心展 AINU－In pursuit of beauty  
9.18～11.7
136. 木村伊兵衛写真賞35周年記念展 11.13～2011.1.10
137. 2010川崎フロンターレ展 12.11～2011.1.10
138. 昔の暮らし今の暮らし2011 1.22～4.3
139. 第44回かわさき市美術展 2.5～2.26
140. かわさきガラス WORLD2011 3.5～3.27

### 平成23年度

141. 岩合光昭どうぶつ写真展 4.16～6.26
142. 実相寺昭雄展－ウルトラマンからオペラ  
「魔笛」まで－ 7.16～9.4
143. ニヶ領用水ものがたり展 7.23～9.11
144. ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展 9.17～11.6

145. 2011川崎フロンターレ展「挑」 12.10～2012.1.9
146. 昔の暮らし今暮らし2012 1.24～4.1
147. 第45回かわさき市美術展 2.18～3.3
148. 画の道八十年をたどる 結城天童回顧展  
3.10～3.25

### 平成24年度

149. 林忠彦賞20回記念写真展 6.2～6.24
150. 郷土・川崎を掘る 川崎考古学研究所の活動の軌跡  
6.30～8.26
151. 川崎市市民ミュージアム・美術館名品展  
“都市と人間のポリフォニー” 7.28～9.9
152. 中村正義の《顔》展 9.15～10.14
153. さわって、ふんで、声かけて！映像神話の現在形  
スタジオ・アズーロ展－KATARIBE－  
9.22～11.4
154. 2012川崎フロンターレ展“一体感”12.8～2013.1.14
155. 昔の暮らし今の暮らし2013 1.26～3.31
156. 第46回かわさき市美術展 2.9～2.23
157. 与勇輝展－物語のなかに－ 3.2～3.24

### 平成25年度

158. 受け継がれた文化財「川崎大師の寺宝と信仰」  
「文化財は語る…」 4.20～6.2
159. 新世代アーティスト展 in Kawasaki  
セカイがハンテンし、テイク 7.20～9.29
160. マンガ・アニメ祭り  
Part1. マンガ＋プラス展 7.13～8.25  
Part2. 夏休みアニメ祭り（上映のみ） 7.13～9.1  
Part3. －アニメ化40周年－ルパン三世展 9.7～11.10
161. カワサキ・シティ 日本を牽引する街 10.12～12.15
162. 2013川崎フロンターレ展“Wing”12.14～2014.1.13
163. 昔の暮らし今の暮らし2014 1.25～3.30
164. 第47回かわさき市美術展 2.8～2.22

### 平成26年度

165. 市制90周年記念 近代川崎人物伝 6.7～8.24
166. 横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS 6.28～9.23
167. いろいろ、そうそう－田中 岑 9.6～11.3
168. 日清・日露戦争とメディア 10.4～11.24
169. 魔法の美術館 ひかりのたまてばこ 12.4～2015.1.12
170. 第48回かわさき市美術展 12.20～2015.1.11

### 平成27年度

171. 画楽60年 渡辺豊重展 4.4～6.21
172. 木村伊兵衛写真賞40周年記念展 7.18～9.23
173. 古鏡－その神秘の力－ 10.10～11.23
174. 江口寿史展 KING OF POP 12.5～2016.1.31
175. くらしの道具 いま・むかし 2016.1.23～3.27
176. 第49回かわさき市美術展 2016.3.5～3.20

## ギャラリー展示一覧

### グラフィックギャラリー（開館～平成16年度）

1. アール・ヌーボーとアール・デコのポスター展  
1988.11.1～1990.3.18
2. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part I  
3.21～9.9
3. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part II  
9.12～1991.3.17
4. ヨーゼフ・ボイス・ポスター・コレクション－造形空間と政治空間－展  
3.20～6.23
5. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part III 6.25～10.27
6. 色相の詩学展（企画展第2会場） 11.2～12.15
7. デイビット・ホックニー版画展 12.17～1992.4.29
8. アニメーション映画原画展 5.2～5.31
9. オリンピックポスター展 6.2～8.2
10. クレス・オルデンバーグ - 『手持ちのノート』 - 展  
8.4～11.29
11. 色彩・共鳴展 12.1～1993.2.28
12. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part IV 3.2～8.8
13. 描かれた時の人  
—マリリン、スターリン、サラ・ベルナール、そして…  
前期： 8.10～10.11  
後期：11.17～1994.2.6
14. 栗津 潔展 2.12～4.10
15. 田名網敬一〔版画の仕事〕1967-1994 4.15～6.19
16. 夏の思い出－Some Views of Summer 展 6.23～9.11
17. ガロ 30（サーティー）  
－伝説を創り続ける漫画雑誌の30年－9.15～10.30
18. 世紀末バリの街角展 11.3～1995.2.12
19. 旅への誘い－ポスターに見る100年間の旅展 2.14～4.23
20. HEAR TAND ART・ポップのまなざし  
－ポップ・アートの版画展－ 4.25～7.16
21. シネマとギャラリー 戦後映画ポスター展示 7.22～9.17
22. 芸術の楽しみ—世紀末とアール・デコ時代の  
展覧会ポスターを中心に 9.22～1996.1.7
23. 詩によせる想い－3人の画家と文学 1.9～4.29
24. 現代版画の比較鑑賞 抑制と放縦 5.1～8.18
25. 劇場への招待－ポスターの中のドラマ－8.21～11.17
26. 向秀男の広告美学（前期・後期） 11.19～1997.6.8
27. 無垢なる魂 アトリエ・エレマン・プレザンの作家たち  
8.30～11.30
28. オリンピック・ポスター展 12.2～1998.3.15
29. 街は紫煙に包まれ… 世紀末の嗜好品ポスター  
3.17～6.14
30. コレクション・コレクション1  
現代版画名品展 6.16～9.13
31. コレクション・コレクション2  
19世紀ポスター名品展 9.15～12.20
32. コレクション・コレクション3  
20世紀ポスター名品展 12.22～1999.4.4
33. コレクション・コレクション4  
現代日本のポスター展 4.6～7.4
34. アメリカ版画名品展 7.6～10.17
35. アール・ヌーヴォーの女性たち 10.19～2000.1.23
36. 時代のシンボルマーク 1.25～4.9
37. ミュージアムコレクションによる  
「グラフィックデザインのモダニズム」展 4.11～7.9
38. 楽しいポスターミュージアム 7.11～10.22
39. 木村恒久原画展 10.25～12.24
40. コレクションによるホックニーの版画展  
2001.1.5～4.15
41. 博覧会の時代 4.17～7.15
42. 特別企画 没後100年記念  
ミュージアムコレクションに見るロートレックとその時代  
7.17～10.28
43. カッサンドルとサヴィニャック 10.30～2002.2.24
44. デザインの教室 現代ポスターの表現と効果  
2.26～6.2
45. 折元立身 グラフィック・アート+オブジェ 6.8～9.1
46. 詩によせる想い－ベン・シャーン、  
コールフィールド、ホックニーの挿絵の世界  
9.3～11.17
47. 夢幻彷徨 木村威夫のイメージ画 11.23～2003.1.19
48. 革命期のロシア・ポスター 2.7～4.27
49. 色彩の魅力・版画の魅力 5.1～8.31
50. 楽しいポスター・ショッピング 9.2～12.21
51. 劇場への招待 12.23～2004.4.4
52. 街角に咲いた芸術・アメリカとヨーロッパ諸国  
4.6～7.4
53. 現代日本デザイン100選  
Japanese Design Today 7.10～8.1
54. スポーツの祭・展「オリンピックのポスター展」  
8.6～2005.1.16
55. －シリーズ写真展：現代写真の母型2005－  
サイト・グラフィックス－風景写真の変貌－展  
1.20～4.10

### 写真ギャラリー（開館～平成16年度）

1. 戦後日本写真の展開（1945－1980）  
1988.11.3～1989.5.1
2. 写真発明150年記念企画写真と人間I  
（1850－1930） 5.3～8.27
3. 写真発明150年記念企画写真と人間II  
（1930－1970） 8.30～1990.2.28
4. 都市の視点－写真と都市・その交感の軌跡－  
3.3～6.22
5. 風土往来 6.26～9.30
6. ヒューマン・ドキュメント－アメリカ：  
1930'S—1940'S 10.2～1991.2.3
7. 濱谷浩の地平 2.6～4.21
8. 特別企画 アデュー、エルスケン展 4.24～6.30

- |  |   |
|--|---|
| 9. かたちとイメージ-写真における造形と表現<br>7.3 ~ 9.29  | PHOTOGRAPHY1999 II.unit2000 / 視力<br>7.20 ~ 8.22   |
| 10. Matrix of Photography -現代写真の母型<br>Part I 柴田敏雄展 10.2 ~ 11.17                      | 43. 現代写真の母型 MATRIX OF<br>PHOTOGRAPHY1999 III.LIGHT / SPACE - 朝<br>岡あかね・安彦さちえ・ハイナー・シリングー<br>8.31 ~ 10.11 |
| 11. Matrix of Photography -現代写真の母型<br>Part II 安田千絵展 11.20 ~ 1992.1.12                | 44. 風景写真の相貌 10.19 ~ 2000.1.16   |
| 12. Matrix of Photography -現代写真の母型<br>Part III 伊奈英次・小林のりお・畠山直哉<br>1.15 ~ 3.1         | 45. 現代写真の母型 MATRIX OF<br>PHOTOGRAPHY1999 IV.鈴木理策 / 吉村朗<br>1.25 ~ 4.9                                    |
| 13. Matrix of Photography -現代写真の母型<br>Part IV 白岡順展 3.3 ~ 4.12                        | 46. ミュージアムコレクションによる「グラフィック・<br>デザインのモダニズム」展 4.11 ~ 7.9  |
| 14. 暮らしのフォークロア -日々のドキュメント再訪-<br>4.15 ~ 7.5   | 47. こどもの情景 7.12 ~ 10.1  |
| 15. 子どもの情景 7.7 ~ 9.6   | 48. 白岡順写真展「秋の日」 10.11 ~ 2001.2.4  |
| 16. 写真を見る~より深く、より豊かに~展<br>9.8 ~ 1993.2.14  | 49. デジタルプリントでよみがえる笠倉家の乾板写真<br>2.7 ~ 5.13  |
| 17. 写真展ザ・スタア~憧れと思ひで~ 2.18 ~ 4.25   | 50. こどもの情景 5.23 ~ 9.30  |
| 18. 街と人の物語 4.28 ~ 7.18   | 51. PORTRAITS: 北島敬三写真展<br>〈現代写真家シリーズ: 同時代のまなざしⅢ〉<br>10.23 ~ 2002.2.3                                    |
| 19. 自然のイメージ 7.21 ~ 9.26  | 52. ヒューマン・イメージ 2.20 ~ 7.17  |
| 20. 都市の歴史空間 9.29 ~ 1994.1.16   | 53. 新寄贈作品 資料展 2.20 ~ 7.17   |
| 21. 同時代の視覚 (I) 田村彰英展 1.19 ~ 4.10   | 54. こどもの情景 7.20 ~ 10.14   |
| 22. ヒューマン・リレーションズ 4.16 ~ 7.24  | 55. 宮本隆司写真展 AFTER1995-2002<br>11.1 ~ 2003.1.19  |
| 23. ヒューマン・ドキュメント アメリカ 1930 ~ 40年代<br>7.28 ~ 9.11                                     | 56. ロシア: 1905年 x 1917年 2.7 ~ 5.11   |
| 24. ガロ 30 (サーティー) -伝説を創り続ける<br>漫画雑誌の 30年- 9.15 ~ 10.30                               | 57. 風土往来 5.21 ~ 8.17  |
| 25. 川崎市市制 70周年記念プロジェクト<br>カワサキ・モニュメント 11.3 ~ 1995.1.16                               | 58. 南仏写真記録プロジェクト ニュー・パースペク<br>ティブ-若き 6人の写真家による南仏風景へ向けら<br>れた新たなまなざし- 8.29 ~ 11.24                       |
| 26. 濱谷浩の世界 (1) 1.25 ~ 4.23   | 59. 川崎物語-昭和 20年代から 40年代の川崎区-<br>12.4 ~ 2004.3.31  |
| 27. バリの記憶 4.26 ~ 7.16  | 60. バリの記憶 4.13 ~ 6.13   |
| 28. シネマとギャラリー-スタアの肖像展示<br>7.22 ~ 10.15   | 61. 谷岡ヤスジの世界展-天才キャラクターだもんね!<br>6.15 ~ 9.26  |
| 29. 満州・シベリア 江成常夫+新正卓 二人展-戦後<br>50年、二人の写真家があらためて問いかける戦争<br>と日本人の歴史- 10.17 ~ 1996.1.15 | 62. 第10回ロサンゼルス・オリンピック (1932年) の記録<br>9.30 ~ 2005.1.16   |
| 30. 風土往来 1.24 ~ 4.21   | 63. -シリーズ写真展: 現代写真の母型 2005 -「サイト・<br>グラフィックス-風景写真の変貌-」展 1.20 ~ 4.10                                     |
| 31. 戦後女性写真の展開 4.24 ~ 7.21  |   |
| 32. こどもの情景 7.24 ~ 10.27  |   |
| 33. 写真のタイポロジー -その発現と展開-<br>10.30 ~ 1997.2.11   |   |
| 34. 濱谷浩の世界 (2) 2.19 ~ 6.8  |   |
| 35. 写真の楽しみ I 8.27 ~ 1998.1.11  |   |
| 36. 写真の楽しみ II 1.13 ~ 4.5   |   |
| 37. 現代英国写真: カラム・コルヴィン作品展<br>七つの大罪と四終 5.12 ~ 6.28                                     |   |
| 38. 写真の楽しみ III アメリカの光と影 1930年代~<br>1940年代 7.15 ~ 9.23                                |   |
| 39. 川崎物語 -昭和 30 ~ 50年代の川崎<br>9.30 ~ 1999.3.14  |   |
| 40. 写真の楽しみ IV 風土再見 3.27 ~ 5.23   |   |
| 41. 現代写真の母型 MATRIX OF<br>PHOTOGRAPHY1999 I. 金村修 6.1 ~ 7.11                           |   |
| 42. 現代写真の母型 MATRIX OF  |   |

### 漫画ギャラリー (開館~平成 16 年度)

1. 特別展 手塚治虫の世界 1988.11.1 ~ 1989.4.23
2. 特別展 藤子不二雄の世界 4.25 ~ 9.3
3. 現代風俗をえぐった異色の漫画家 富田英三展  
9.5 ~ 12.3
4. はがき漫画展 12.5 ~ 1990.1.28
5. 似顔絵漫画展 1.30 ~ 5.13
6. 团团珍聞 (まるまるちんぶん) 展 5.15 ~ 9.16
7. 小島功展 9.18 ~ 1991.1.20
8. -告発の漫画家-まるやまふみお展 1.22 ~ 5.19
9. 近藤日出造展 5.21 ~ 9.29

10. パンチ創刊 150 周年記念  
- 『パンチ』に描かれた日本像-展 10.1 ~ 1992.3.1
11. やなせたかしの世界展 3.3 ~ 8.30
12. 漫画集団 60 年史展 9.1 ~ 1993.3.21
13. 明治の風刺画家・田口米作展 3.23 ~ 8.15
14. 漫画に記録された関東大震災展 8.17 ~ 1994.2.27
15. 子供漫画の開拓者 新関健之助展 3.1 ~ 9.11
16. ガロ 30 (サーティ) - 伝説を創り続ける漫画雑誌の 30 年 - 9.15 ~ 10.30
17. 読売国際漫画大賞傑作選展 11.3 ~ 1995.4.23
18. 読売国際漫画大賞傑作選展パート II 4.25 ~ 7.16
19. シネマとギャラリー 映画と漫画展示 7.22 ~ 9.17
20. 漫画にみる 1945 年 9.20 ~ 1996.2.18
21. 漫画にみる 1946 年 2.20 ~ 7.14
22. 漫画に記録された東京裁判展  
- 清水昆の原画を中心に - 7.20 ~ 10.20
23. 読売国際漫画大賞傑作選  
東アジアの漫画 I・中国編 10.22 ~ 1997.2.23
24. 第 18 回読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 2.25 ~ 3.23
25. 読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 諸国めぐり  
3.25 ~ 6.8
26. 漫画作家 畑中純の挑戦-豊かな大地と水と人間と-  
6.14 ~ 8.24
27. 一平が育てた弟子たち 8.30 ~ 11.30
28. 漫画動物園「まったく ZOO ZOO しいやつらだ」  
12.2 ~ 1998.3.29
29. 第 19 回読売国際漫画大賞展  
〔一般の部・大賞-入選の作品〕 4.3 ~ 5.31
30. 第 19 回読売国際漫画大賞展  
〔一般の部・佳作、ジュニアの部〕 6.5 ~ 8.2
31. 出版資料に見る少女まんが展 8.7 ~ 10.11
32. いい仕事してますねェ・・・  
- ヒトコマ漫画・職人づくし - 10.13 ~ 1999.2.28
33. 第 20 回読売国際漫画大賞展〔前半〕 3.2 ~ 5.5
34. 第 20 回読売国際漫画大賞展〔後半〕 5.7 ~ 7.4
35. 太平洋戦争前夜の漫画雑誌展 7.6 ~ 10.31
36. 明治パンチ本の世界展 11.2 ~ 2000.2.27
37. 第 21 回読売国際漫画大賞展〔前半〕 2.29 ~ 4.30
38. 第 21 回読売国際漫画大賞展〔後半〕 5.2 ~ 7.2
39. アニメになったマンガ作品 7.4 ~ 10.9
40. 『滑稽新聞』の風刺漫画 10.11 ~ 2001.2.25
41. 第 22 回読売国際漫画大賞展 2.27 ~ 5.27
42. 楠勝平・つりたくにこ／2 人の軌跡  
- 新しいマンガ表現にかけた青春 - 5.29 ~ 9.2
43. 19 世紀フランス人漫画家ロビタが描いた未来  
9.4 ~ 12.2
44. アジア I N コミック  
- 私たちはどこへ行くのか? - 12.4 ~ 2002.2.3
45. 第 23 回読売国際漫画大賞展 〔前半〕 2.5 ~ 5.12  
〔後半〕 5.14 ~ 8.18
46. 『ジャパン・パンチ』創刊 140 年記念  
ワーゲマンの描いた幕末・明治 8.20 ~ 10.27
47. 上村一夫の世界展 10.29 ~ 2003.1.26

48. 第 24 回読売国際漫画大賞展  
〔前半〕 2.7 ~ 4.29  
〔後半〕 5.1 ~ 7.13
49. 出版資料に見る日仏コミック交流史展 7.15 ~ 9.7
50. 漫画に描かれた日露戦争前夜-政治・外交・社会-  
9.9 ~ 2004.2.1
51. 第 25 回読売国際漫画大賞展 2.3 ~ 4.11
52. 19 世紀フランスの諷刺とユーモア 4.13 ~ 6.13
53. 谷岡ヤスジの世界展  
- 天才キャラクターだもんね! 6.15 ~ 9.26
54. 漫画に見る日本のスポーツ史 9.30 ~ 12.26
55. 毎日国際マンガグランプリ 2004 受賞作品展  
2005.1.5 ~ 2.6
56. 第 26 回読売国際漫画大賞受賞作品展 2.8 ~ 4.10

### アートギャラリー (平成 17 年度~ 27 年度)

1. 時代を切り開くまなごし-木村伊兵衛写真賞の 30 年  
- 1975 - 2005 (企画展開連展示) 2005.4.23 ~ 6.19
2. つたえる美術-ポスター、写真、マンガのはじめての物語-  
7.5 ~ 11.13
3. スイス・コミック・アート展 9.16 ~ 12.25
4. WRITING Line LIGHTING Line: 筆跡と光跡  
11.22 ~ 2006.1.29
5. Let's Go! 川崎フロンターレ展 10 周年、そして  
新たな歴史へ 12.10 ~ 2006.1.9
6. 毎日国際マンガグランプリ 2005 受賞作品展  
1.3 ~ 2.12
7. 写真展 川崎のあゆみ 50 年 写真家・小池汪が  
見た川崎 1955 - 2005 2.7 ~ 5.7
8. 川崎の美術-川崎を描く／川崎で描く- 2.7 ~ 5.7
9. 第 27 回読売国際漫画大賞受賞作品展 2.18 ~ 4.23
10. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
亀倉雄策のポスター展 4.25 ~ 6.25
11. つたえる美術 2 見るこども・見られるこども  
5.13 ~ 9.3
12. 第 1 回「名取洋之助写真賞」受賞作品展 - 清水哲  
朗「路上少年」・伊原美代子「海女」 7.8 ~ 9.3
13. 眩暈の装置: 松本俊夫をめぐるインターメディアの鉅脈  
9.16 ~ 11.26
14. 川崎フロンターレ 10 周年記念展 - challenge the  
future - 12.9 ~ 2007.1.8
15. 第 3 回アメリカンフットボール W 杯 2007 川崎大会  
記念展 12.9 ~ 2007.2.18
16. ホームタウンスポーツかわさき展 12.9 ~ 2007.2.4
17. individuals - 交差する 4 人 1.23 ~ 2.25
18. 第 28 回読売国際漫画大賞 受賞作品展 2.10 ~ 2.25
19. オフ・ストライプス / OFF STRIPES: 縞模様の繊  
細なる瞬き 4.21 ~ 7.8
20. 「星と宇宙のファンタジー」 7.21 ~ 9.24
21. 映像の現在形 2007  
「映像の創出-イメージと装置」、「これはこれを撮

- 影するカメラである」、「私が見るようあなたを私を見る」、「シーイング／ヒアリング／スピーキング」、「アイ・アム・(ナット)・シーン」  
10.6 ~ 12.24
22. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 田中一光の華展 2007.10.6 ~ 12.2
23. 川崎フロンターレ展 2007 One for goal! Goal for one! 12.8 ~ 2008.1.14
24. [シリーズ写真展:現代写真の母型 2008] 写真ゲーム - 11人の新たな写真表現の可能性 - 2008.1.26 ~ 3.30
25. 第29回読売国際漫画大賞受賞作品展 2.23 ~ 3.30
26. 「コレクション・ピックアップ」学芸員が選ぶ収蔵作品展 4.12 ~ 7.13
27. 「顔」 7.19 ~ 11.24
28. 川崎フロンターレ展 2008 With Supporters 12.7 ~ 2009.1.12
29. 「戦後の作家たち」 1.20 ~ 4.12
30. 幕末明治の諸相 - 岡コレクションより - 4.16 ~ 6.28
31. 写真家・宮武東洋展 - 日系米国人強制収容所の記録を中心に - 4.16 ~ 6.28
32. リトグラフと画家 - ポスターの印刷技術展 4.16 ~ 6.28
33. 「熊切圭介写真展 60年代の光と影」 7.2 ~ 10.4
34. 「女性を撮る」 7.2 ~ 10.4
35. 「変革の渦 - Graphic Design in '60s - '70s」 7.2 ~ 10.4
36. 「メディアとアート歪んだ瞬間 - 未来派、構成主義、バウハウス、現代作品から探る -」 10.10 ~ 2010.1.17
37. 「カメラ毎日」の時代 平成21年度 寄贈資料を中心に 1.21 ~ 4.11
38. 「岡本かの子 その母性と母性像」 1.21 ~ 4.11
39. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナーグラフィック '55の作家たち」 1.21 ~ 4.11
40. 木村伊兵衛写真賞 35周年記念展  
第1期 4.17 ~ 6.27  
第2期 7.3 ~ 10.3  
第3期 10.9 ~ 2011.1.16  
第4期 1.22 ~ 4.10
41. 「マガジカバーの世界展 ~ ロートレック、ミュシャ、ピアズリー ~」展 4.17 ~ 6.27
42. 詩人 佐藤惣之助 7.3 ~ 10.3
43. 「漫画収蔵品」展 - 漫画をコレクションし、展示するとは? - 7.3 ~ 10.3
44. 「メディアとアート 明晰な幻」展 10.9 ~ 2011.1.16
45. 映画美術監督 久保一雄の仕事 1.22 ~ 4.10
46. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 宇野亜喜良のポスター」展 1.22 ~ 4.10
47. 岩合光昭どうぶつ写真展 関連企画「いきもの写真展」 4.16 ~ 6.26
48. 幕末明治の浮世絵 4.16 ~ 7.3
49. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 福田繁雄と川崎市市民ミュージアム 7.9 ~ 10.10
50. 世界初の写真技法ダゲレオタイプ - 修復と表現 - 7.9 ~ 10.10
51. シリーズ・川崎の美術 川崎の7人 7.9 ~ 10.10
52. 岡本太郎生誕100年記念 パパは漫画家 - 岡本一平とその芸術 - 10.15 ~ 2012.1.9
53. 岡本太郎生誕100年記念 岡本家と大貫晶川 ~ 芸術一家のはじまり ~ 10.15 ~ 2012.1.9
54. 中田和昭写真展 - 工都川崎と昭和のこどもたち - 10.15 ~ 2012.1.9
55. ラク描キセヨークリエイティヴユニット  
トーチカの軌跡 2.4 ~ 4.1
56. アール・デコの女性と装飾 2.4 ~ 4.1
57. 19世紀末 ~ 20世紀前半アメリカ漫画資料展 5.29 ~ 7.29
58. ブラウン管時代のビデオアート ~ ネット時代のビデオ 5.29 ~ 7.29
59. シリーズ川崎の美術 田中岑 91層の色彩 5.29 ~ 7.29
60. 日活創立100年記念資料展 - 煌めきのかなたに 8.4 ~ 11.4
61. 濱谷浩写真展:「こども風土記」「地の貌」「American America」を中心に 8.4 ~ 11.4
62. シリーズ・日本のグラフィック・デザイナー:中村誠のポスター展 12.4 ~ 2013.3.31
63. いろとかたちの実験:ヨーゼフ・アルバーズ『フォーミュレーション:アーティキュレーション』展 12.4 ~ 2013.3.31
64. 素描とスケッチの愉しみ 12.4 ~ 2013.3.31
65. シリーズ・川崎の美術 響きあうアート 4.6 ~ 6.30
66. カワサキ・ドキュメント 4.6 ~ 6.30
67. 夜が明ける頃 7.6 ~ 9.29
68. 柴川敏之 | 2000年後の今に触れる☆プロジェクト | PLANET TACTILE 7.9 ~ 9.29
69. 1980年代の大衆文化 10.5 ~ 12.28
70. タベルことにまつわること 2014.1.11 ~ 3.30
71. 顔 6.3 ~ 8.3
72. ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ50年展 8.9 ~ 10.5
73. ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI 水野英子展 わたしのマンガの描き方 8.9 ~ 10.5
74. ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI 下川凹天と日本近代漫画の系譜 8.9 ~ 10.5
75. 日本のグラフィックデザイナー 勝井三雄:色光のゆらぎ 10.11 ~ 12.7
76. のぞき⇄のぞかれ 10.11 ~ 12.7
77. 本の美術 10.11 ~ 12.7
78. 2014川崎フロンターレ展 12.20 ~ 2015.1.12
79. 「スピード太郎」とその時代 ~ 市民ミュージアム所蔵・宍戸左行遺品資料を中心に ~ 4.4 ~ 7.5
80. 一連のものがたり、一枚のモノガタリ 4.4 ~ 7.5

81. 木村伊兵衛写真賞 40 周年記念展 (企画展関連)  
7.18 ~ 9.23
82. 鏡 - Reflected Images 10.3 ~ 11.29
83. 新収蔵作品展 10.3 ~ 11.29
84. 2015 川崎フロンターレ展 12.12 ~ 2016.1.11
85. コレクション展 収蔵品ピックアップ 2016.1.23 ~ 4.3

### 特別資料室展示一覧 (開館~平成 18 年度)

1. 川崎のむかし展 1992.7.20 ~ 1993.8.31
2. 石に刻まれた中世 - 収蔵板碑を中心に -  
1993.9.7 ~ 1994.8.31
3. 川崎の民具展 9.27 ~ 1995.8.31
4. 掘り出された川崎 9.3 ~ 1996.8.25
5. かわさき歴史探検 1 - 中原区の巻 -  
9.3 ~ 1997.8.24
6. かわさき歴史探検 2 - 多摩区・麻生区の巻 -  
9.9 ~ 1998.2.28
7. かわさき歴史探検 3 - 川崎区・幸区の巻 -  
3.17 ~ 8.30
8. かわさき歴史探検 4 - 高津区・宮前区の巻 -  
9.15 ~ 1999.2.28
9. 新収蔵資料展 3.16 ~ 8.29
10. 丘陵 - 人々とくらし - 9.14 ~ 2000.2.27
11. むかしの川崎 3.14 ~ 9.10
12. 出土品が語る川崎の歴史 9.23 ~ 2001.2.25
13. かわさきの近代 3.13 ~ 9.9
14. ヒトとモノの動き展 9.29 ~ 2002.2.24
15. 収蔵資料展 - 岡コレクション - 3.9 ~ 5.12
16. 特別公開 川崎市重要歴史記念物指定  
古筆手鑑と指定文化財 4.6 ~ 5.12
17. むかしの暮らし モノのうつりかわり 5.28 ~ 9.1
18. 中原街道と中原区の文化財 9.14 ~ 12.15
19. ベリー来航 150 年黒船がやって来た!!  
2003.1.5 ~ 4.6
20. 大むかしの川崎 4.27 ~ 8.31
21. 生業 (なりわい) - 生産と道具 - 9.13 ~ 11.30
22. 昔のくらし今のくらし II 12.13 ~ 2004.4.11
23. 川崎の歴史 I 「先人の社会と文化」 4.27 ~ 6.6
24. 川崎の歴史 II 「都市川崎の形成と発展」 6.22 ~ 9.20
25. 近世出版文化と在村の知識人 10.2 ~ 12.5
26. あかりの情景展 2005.3.26 ~ 9.25
27. 資料が語る川崎の歴史 10.8 ~ 2006.1.29
28. 新収蔵考古資料展 2.11 ~ 7.2
29. くらしをはかる - いろいろな単位 - 7.22 ~ 10.29
30. 昔のくらし、今のくらし - 道具に見るくらしの  
うつり変わり 11.23 ~ 2007.2.18

### 企画上映一覧 (映画) (開館~平成 27 年度)

#### 昭和 63 年度

1. 映画における川崎の情景 1988.11.1・2
2. 人間賛歌~ミュージアム・フィルムコレクションから  
11.3 ~ 11.13
3. ルネ・クレール 巴里好日 11.19・20
4. 美空ひばりと歌謡スターたちの系譜 12.3 ~ 12.18
5. サイレント映画大全 1989.1.7 ~ 2.26
6. 幻想の魔術師 イジイ・トルンカ アニメーションフェア  
3.25 ~ 4.5

#### 平成元年度

7. イジイ・バルタの映像世界 5.13・14
8. 笑いのフィルモロジー: 日本映画に見る  
コメディの変遷 6.17 ~ 8.6
9. 独立プロダクションの系譜 9.15 ~ 9.24
10. アニメあ・ら・かると公開記念イベント 10.22
11. 企画展「TREND'89」併催企画「ロバート・フラン  
ク作品上映」 10.21
12. ドラマの中の昭和 ミュージアム・フィルムコレク  
ションから 1990.2.3 ~ 2.18
13. ディレクターズ・カンパニーの監督たち 3.24 ~ 4.8

#### 平成 2 年度

14. 写真展「女性のまなざし」併催 映画における女性  
のまなざし 4.14 ~ 4.29
15. 監督による告白の女優論 7.7 ~ 7.29
16. ヤン・ペシェクとポーランド芸術の冒険 9.1
17. 8 ミリ映画の黄金時代 第 1 期 9.7 ~ 9.9
18. ヤン・シュワンクマイエル映画祭 90' 10.2 ~ 10.14
19. 日本映画のお婆ちゃん/北林谷栄 1991.1.19 ~ 1.27
20. 8 ミリ映画の黄金時代 第 2 期 3.15 ~ 3.17

#### 平成 3 年度

21. 御隠居日記/東野英治郎の歩み 6.22 ~ 6.30
22. 8 ミリ映画の黄金時代 第 3 期 8.9 ~ 8.11
23. ATG 映画の 30 年 9.7 ~ 9.23
24. プロデューサー三浦朗の軌跡 10.10 ~ 10.13
25. オーストリア映画 1991 /  
マンスール・マダヴィ特集 11.3 ~ 11.24
26. ノン・フィクションの物語論 1992.1.25 ~ 2.11

#### 平成 4 年度

27. 近代映画協会の 40 年 4.4 ~ 4.26
28. ドイツの新しいアニメーション 5.2 ~ 5.31
29. レンフィルム祭 7.4 ~ 8.2
30. もう一つの東宝映画/新東宝の世界 11.21 ~ 11.29
31. 監督・中村登/大船調の冒険 1993.3.6 ~ 3.28

## 平成 5 年度

32. サタジット・レイ映画祭 6.12～7.4  
33. 妖怪映画特集 8.7・8  
34. マノエル・デ・オリヴェイラとポルトガル映画の諸相 11.6～11.28  
35. 狂った太陽の季節／日活ルネサンス 1956 - 1971 1994.3.21～3.30

## 平成 6 年度

36. 英国アニメーション 4.23・24  
37. 田名網敬一／記憶のイメージ 6.4・5  
38. ハリウッド・ニンフェット／メアリー・ピッグフォードとその時代 7.16～7.31  
39. 叙情とシュール／ガロ 30 [映画篇] 9.23・24  
40. まなざしの力／ケン・ローチ回顧展 11.12～12.4

## 平成 7 年度

41. デコールの前衛とリアリズム／美術監督・久保一雄 7.22～9.9  
42. 戦後ポーランド映画の系譜 10.21～11.19  
43. 残雪プレミア上映 11.23  
44. 神代辰巳 1 周忌・エレジー／虚無とざわめき 1996.2.24・25

## 平成 8 年度

45. 岩波映画出身の監督たち 7.6～8.4  
46. 韓国映画祭～知られざる映画大国～ 第一期 戦後の黄金期 10.19～11.17  
47. 青春映画と 70 年代 1997.2.8～3.16

## 平成 9 年度

48. 中村正義展記念上映 5.3・4・10  
49. 韓国映画祭 第二期 新しい波 6.1～7.5  
50. 韓国映画の現在形 7.6・12  
51. 怪獣映画祭 7.21～8.10  
52. レトロスペクティヴ／ジョルジュ・ド・ボールガール 10.18～11.16  
53. メガホンを持った俳優たち 1998.3.7～3.22

## 平成 10 年度

54. 10 周年コレクション上映 自由という地平 1 戦後独立プロの多面性 7.4～7.20  
55. 自由という地平 2 「日本ニュース」とその時代 8.1～8.16  
56. 自由という地平 3 撮影監督・宮島義勇と独立プロ運動 8.29～9.13  
57. 自由という地平 4 まなざしの力／ケン・ローチ・レトロスペクティヴ 9.19～10.11  
58. かながわ・ゆめ国体公開競技スポーツ芸術スポーツ映画フェスティバル 10.20～10.29  
59. 自由という地平 5 撮る者と撮られる者の対話

11.7～11.22

60. 自由という地平 6 アラヴィンダン映画展 11.28～12.20  
61. キリスト教伝来と日本人 1999.1.15～2.28  
62. マノエル・デ・オリヴェイラ映画祭 2.11～2.20  
63. チェコ・アニメーションの世界 3.6～3.21

## 平成 11 年度

64. 「自由」への旅 - 1970 年代以降のレンフィルム 5.15～6.20  
65. 映画における〈沖繩〉 8.7～9.5  
66. 1970 年代の ATG 映画 11.6～12.12  
67. 「具流八郎の世界」 2000.2.5～2.27

## 平成 12 年度

68. 今井正の軌跡 - 映画の中の日本 6.3～7.16  
69. 戦後日本のセル・アニメーション 7.22～8.20  
70. 「記録映画の作劇術」 11.18～12.10  
71. 1980 年代の ATG 映画 2001.2.10～3.20

## 平成 13 年度

72. 〈映画〉を聴く 眞鍋理一郎の映画音楽 7.7～8.12  
73. ロボットフェスタ神奈川 2001 ロボット映画祭 9.8～9.16  
74. インド芸術映画の巨匠 ゴーヴィンダン・アラヴィンダン映画展 10.13・14  
75. 35mm 自主制作映画の興隆 11.17～12.9  
76. アルゴプロジェクトの挑戦 2002.2.2～3.21

## 平成 14 年度

77. 脚本家・井手雅人の仕事 6.22～8.11  
78. 夢幻礼讃 映画美術監督 木村威夫の世界 11.23～2003.1.19

## 平成 15 年度

79. 映画ドラえもん大集合 6.21～7.27  
80. テレビ放送 50 周年記念 回顧上映 牛山純一テレビドキュメンタリーに賭けた生涯 9.14～9.28  
81. 開館 15 周年記念「映画の中の子供たち」市民ミュージアム映画コレクションから 11.1～11.3  
82. 銀幕を彩る女優たち 11.15～12.14  
83. アルゴ II ニュー・エンタテインメントのゆくえ 2004.2.7～2.22

## 平成 16 年度

84. 独立プロダクションの映画作家たち I・II 今井正・山本薩夫 4.17・18 5.15・16  
85. 「街角に咲いた芸術」展関連上映 バリ、世紀末。 5.1・2  
86. 嵐を呼ぶ！映画クレヨンしんちゃん祭り 6.26～7.11

- 87. 日本のネオ・ホラーフィルム 7.24～8.8
- 88. 独立プロダクションの映画作家たちⅢ・Ⅳ 勅使河原宏・家城巳代治 9.18・19 11.20・21
- 89. 「谷岡ヤスジの世界展」関連上映 幻のアニメ「やっちまえ!!Do it!」復活上映 9.20
- 90. 映画を聴く vol.2 録音技師・久保田幸雄「ドキュメンタリーの音、劇映画の音。」 10.9～10.31
- 91. 新潟中越地震 山古志災害復興支援上映会「掘るまいか」 11.28
- 92. 独立プロダクションの映画作家たちⅤ・Ⅵ 新藤兼人・吉村公三郎 12.18・19 2005.1.15・16
- 93. CLAMP 映画祭 1.29～2.20
- 94. 独立プロダクションの映画作家たちⅦ・Ⅷ 大島渚・吉田喜重 2.26・27 3.5・6

### 平成 17 年度

- 95. CLAMP 映画祭再上映 4.10
- 96. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅰ 韓国映画のスターたち カン・スヨン 4.16・17
- 97. シネマテーク・コレクション 演じることと演出すること 4.23・24
- 98. 「小川美潮ライブ」関連上映 初期の市川準 4.29～5.1
- 99. シネマテーク・コレクション ヌーヴェル・ヴァーグの先導者 岡本喜八と増村保造 5.3～5.5
- 100. シネマテーク・コレクション ゴーヴィンダン・アラヴィンダン特集 5.7・8
- 101. シネマテーク・コレクション ドキュメントとフィクションの狭間で 5.14・15
- 102. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅱ 韓国映画のスターたち アン・ソンギ 5.21・22
- 103. 市川雷蔵の「若親分」 5.28～6.5
- 104. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち 1 6.11・12
- 105. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅲ 6・25 動乱(朝鮮戦争)を考える 6.18・19
- 106. デジモン、犬夜叉、名探偵コナン 人気アニメーション大集合 6.25～7.17
- 107. 「ロシア民族学博物館アイヌ資料展－ロシアが見た島国の人びと－」関連上映 アイヌと記録映画作家・姫田忠義 7.18～8.21
- 108. われらサラリーマン－東宝のサラリーマン映画 7.18～9.4
- 109. 戦後 60 年特別上映「平和記念都市 ひろしま」 8.6～8.14
- 110. 今村昌平の世界 9.10～10.2
- 111. 牛山純一と日本映像カルチャーセンター 10.8～10.10
- 112. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅳ 韓国映画のスターたち イ・ボヒとハ・ミョンジュン 10.15・16
- 113. 江利チエミの「サザエさん」 10.22～11.3
- 114. レンフィルムの監督たち 11.5～11.13

- 115. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅴ 韓国映画の監督たち ヴェテランたちの活躍 11.19・20
- 116. 「大(OH!)水木しげる」展開連上映 妖怪たちがやってくる!! 11.26・27
- 117. シネマテーク・コレクション ジュルジュ・ド・ポールガール：ヌーヴェル・ヴァーグのプロデューサー 12.3～12.11
- 118. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅵ 韓国映画の監督たち キム・ウンチョン 12.17・18
- 119. シネマテーク・コレクション 今井正の魅力 12.23～12.25
- 120. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち 2 山本薩夫 2006.1.7～1.9
- 121. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅶ 自由と独立を求めて 1.14・15
- 122. 「伴淳三郎」物語 1.21～1.29
- 123. 関川秀雄の世界 2.4～2.12
- 124. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅷ 韓国映画の監督たち イム・グォンテクとペ・チャンホ 2.18・19
- 125. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち 舞台演出家、脚本家の視線 2.25・26
- 126. シネマテーク・コレクション につぼん風土記 3.4～3.12
- 127. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅸ 韓国映画の監督たち 21 世紀への胎動 3.18・19
- 128. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち 3 撮影監督・宮島義勇 3.21～3.26

### 平成 18 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

- 129. 藤純子－任侠の華
- 130. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅹ 王朝時代の女性たち
- 131. 高林陽一の京都
- 132. 赤木圭一郎 刹那の輝き、永遠の伝説。
- 133. 土本典昭の水俣
- 134. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅺ 結婚の行方
- 135. 寺山修司 非日常のすすめ
- 136. 「弥生・古墳・飛鳥を考える」展開連上映
- 137. 熊井啓 黒い霧の正体に迫る
- 138. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅻ 現代家族考
- 139. 仮面ライダーとスーパー戦隊シリーズ
- 140. 円谷英二と空想科学映画の世界
- 141. シネマテーク・コレクション 戦争がもたらしたものと何か
- 142. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚から牧野村へ。
- 143. 昼下りのメロドラマ
- 144. シネマテーク・コレクション 松本俊夫：「映像」の変革
- 145. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅼ 現代社会考 男の場合、女の場合
- 146. 現代ドキュメンタリー映画の潮流

147. シリーズ「魅惑の韓国映画」XIV 世代を超えて
148. 「横山光輝の世界」展関連上映
149. インディペンデント映画の挑戦
150. かわさきデジタルショートフィルムフェスティバル 2006 関連上映
151. シリーズ「魅惑の韓国映画」XV 1970年代セレクション
152. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち
153. シネマテーク・コレクション 柳町光男と橋浦方人
154. オムニバス映画の魅力
155. フランキー堺の『与太郎戦記』
156. 東南アジアの風 福岡市総合図書館フィルム・アーカイヴ・コレクションから
157. シリーズ「魅惑の韓国映画」XVI 1990年代セレクション
158. 加東大介の『大番』
159. シネマテーク・コレクション 山本薩夫の仕事

#### 平成 19 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

160. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏の仕事
161. シネマテーク・コレクション レンフィルム・セレクション
162. 大森一樹と“アイドル”映画
163. ハナ肇と山田洋次
164. 「昭和ブギウギ 1945 - 64」展関連上映 スターの時代
165. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚への道。
166. 梶芽衣子の「さそり」
167. 人情派バンザイ！ 映画監督・久松静児
168. 没後 10 年・勝新太郎と「兵隊やくざ」の世界
169. 「OFF STRIPES 縞模様の繊細なる瞬き」展関連上映 しましまえいが
170. シネマテーク・コレクション 記録映画作家・姫田忠義
171. 小林旭の銀座旋風児ギンザマイトガイ
172. 「安彦良和原画展」関連上映 伝説の勇者たち 綺羅星のごとく
173. シネマテーク・コレクション インディペンデントというスタイル
174. 大映京都の怪談
175. 川崎ゆかりの映画人たち・坂本九の巻
176. 「星と宇宙のファンタジー」展関連上映 銀河鉄道の夜
177. キャメラマンは国境を越える 永田鉄男と栗田豊通
178. 国際合作の可能性
179. 今東光と“河内”の世界
180. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち
181. シネマテーク・コレクション これが女の生きる道！ - ATG の軌跡 -

182. 「産業都市・カワサキのあゆみ 100 年 - 進化しつづけるモノづくりの街 -」展関連上映
183. シネマテーク・コレクション 今井正と家城巳代治
184. 映像の現在形 2007 「映像の創出イメージと装置」展関連上映 飯村隆彦の世界
185. カワサキショート 2008 受賞作上映
186. 田宮二郎のアクション映画
187. “一番星”と“やもめのジョナサン”『トラック野郎』の世界
188. シネマテーク・コレクション 記録映画選集
189. “必殺”の世界
190. 五味川純平と「人間の条件」
191. 高橋英樹 剣客と俠客
192. シネマテーク・コレクション ジョルジュ・ド・ポールガール：ヌーヴェル・ヴァーグとプロデューサー
193. 映画監督・谷口千吉
194. 亀井文夫の戦後
195. 「少女マンガパワー！」展関連上映
196. 春休みはポケモン！

#### 平成 20 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

197. シネマテーク・コレクション 小説の快楽、映画の愉楽
198. 艶姿七変化 特集・長谷川一夫
199. 「オキナワ／カワサキ」展関連上映 太陽の国オキナワ
200. シネマテーク・コレクション アンチ・ヒロイズム - 敗者の美学 -
201. 特集 石原裕次郎
202. 幼子の祈り - かつて子供だったおとなたちのために
203. 一投一打のドラマ 野球映画特集
204. 「くらしと着物」展関連上映 所作ごと麗し、きもの粋
205. メタモルフォーゼ 変身する人間
206. ふるさとのくらし - 記録映画 -
207. 記憶と祈り - 映画のなかの“公害”
208. 「ジャパンブラジルクリエイティブアートセッション」関連上映 ブラジル映画特集
209. Lupin the Movie カワサキより愛をこめて
210. ロシア映画特集 - アラノヴィッチとソクーロフ -
211. 「ともに生きる」展関連上映
212. 特集・新藤兼人
213. 脚本家 荒井晴彦
214. 風刺と諧謔 コメディの地帯
215. 「てなもんや」シリーズと「沓掛時次郎」
216. 「粟津潔」展 関連上映 「知りすぎていた男 粟津潔」
217. 常設展「戦後の作家」展 関連上映 映画監督・大島渚
218. SLC ファクトリー アニメーション・ワークショップ
219. 無垢なる詩人 G. アラヴィンダン
220. 生誕 100 年記念 松本清張 第 1 弾
221. 「昔のくらし今のくらし」展関連上映

#### 平成 21 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

222. 特集上映 今井正

- 223. 「幕末・明治期の川崎とニッポン」展関連上映
- 224. 生誕 100 年記念 松本清張 第 2 弾
- 225. 特集上映 オータル・イオセリアーニ
- 226. 生誕 100 年記念 松本清張 第 3 弾
- 227. 郷土を知る－川崎の伝統と行事－
- 228. 元祖・クールビューティ！江波杏子の「女賭博師」
- 229. 「サンデー・マガジンの DNA」展関連上映 タイムスリップ 僕らの時代
- 230. 山本薩夫監督特集演出のダイナミズム
- 231. シネマテーク・コレクション 家族へのまなざし
- 232. わが街・昭和の風景
- 233. シネマテーク・コレクション 映画監督・神山征二郎
- 234. ドキュメンタリー選集
- 235. 川崎ゆかりの映画人たち 実相寺昭雄の巻 大回顧展プレ・イベント
- 236. シネマテーク・コレクション アルゴプロジェクト 20 年目の傑作選
- 237. 特別上映 長篇記録映画『セレベス』
- 238. 映画監督・岡本喜八、戦争を“喰う”
- 239. 第 64 回毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 ドキュメンタリー映画賞特集
- 240. シネマテーク・コレクション レンフィルムへの誘い
- 241. インディペンデントというカタチ
- 242. 映画監督・家城巳代治の流儀
- 243. “スピノフ”映画のプロトタイプ 熊虎親分とピラニア軍団

**平成 22 年度（毎週土日および祝祭日に定期上映）**

- 244. シネマテーク・コレクション アラヴィンダン 悲哀とユーモアのなかで
- 245. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏 リアルの向こう側
- 246. 吉村公三郎 名匠が捉えた男の魅力
- 247. <sup>スーパー</sup>超・サラリーマン 東映編
- 248. シネマテーク・コレクション 54 年目の水俣病事件
- 249. 映画監督・熊井啓の視座
- 250. シネマテーク・コレクション 三島由紀夫と立松和平
- 251. シネマテーク・コレクション 記録を越えて
- 252. 泉鏡花 悲恋の系図
- 253. 川崎ゆかりの映画人たち 女優・川崎弘子
- 254. シネマテーク・コレクション 自主製作のシルエット
- 255. シネマテーク・ドキュメンタリー・セレクション 4 つの視線
- 256. シネマテーク・コレクション 思想の自由を求めて 今井正と中尾駿一郎
- 257. ザッツ・ジャパニーズ・ホラー 山本迪夫監督作品から
- 258. シネマテーク・コレクション 思想の自由を求めて 新藤兼人と黒田清己
- 259. アンコール上映 長篇記録映画「セレベス」
- 260. シネマテーク・コレクション 1980 年代の息吹
- 261. 「詩人 佐藤惣之助」展関連上映 昭和歌謡のヒット・

- メーカー 佐藤惣之助
- 262. 蘇る登戸研究所
- 263. シネマテーク・コレクション 記録映画作家・姫田忠義「日本文化のふるさと」
- 264. シネマテーク・コレクション 山内久の“若者たち”
- 265. 生誕 100 年 映画監督・山本薩夫
- 266. 1980 年代のレンフィルム
- 267. 「アイヌ－美を求める心」展関連上映 記録映画作家・姫田忠義「アイヌのくらし」
- 268. シネマテーク・コレクション 映画音楽〈武満徹〉
- 269. 有吉佐和子 百花繚乱
- 270. クロード・シャブロール追悼 プロデューサー ジョルジュ・ド・ボールガール
- 271. 追悼上映 人形アニメーション作家 川本喜八郎
- 272. シネマテーク・コレクション ATG 特集 第 1 弾－ニッポンの最も熱い日々－
- 273. 特集上映 脚本家 馬場当
- 274. 新春特集向田邦子と久世光彦
- 275. シネマテーク・コレクション ATG 特集 第 2 弾「変貌の時代」
- 276. 「映画美術監督 久保一雄の仕事」展関連上映
- 277. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集（1970 年代）」
- 278. シネマテーク・コレクション 映画監督 中川信夫
- 279. シネマテーク・コレクション パペット・アニメーション！
- 280. 日本映画大学設立記念 日本映画学校卒業生作品選

**平成 23 年度（毎週土日および祝祭日に定期上映）**

- 281. シネマテーク・コレクション 青春の物語
- 282. インドの映像詩人 G・アラヴィンダン
- 283. 司馬遼太郎 vs 吉川英治
- 284. アニメーション特集 東映動画
- 285. シネマテーク・コレクション 石井隆特集
- 286. シネマテーク・コレクション ドキュメンタリー傑作選 vol.1
- 287. 映像の魔術師 フェデリコ・フェリーニ
- 288. シネマテーク・コレクション レンフィルムの輝き
- 289. シネマテーク・コレクション カメラの前と後ろで
- 290. 太郎の愛した映画たち 岡本太郎生誕 100 年記念
- 291. 特集上映 奇才・実相寺昭雄
- 292. 日活創立 100 年記念イベント 特集・日活サスペンス&「事件記者」
- 293. 川崎の祭りと日本の伝統文化
- 294. シネマテーク・コレクション ATG の挑戦
- 295. 親子上映会 第 1 部 シネマテーク・コレクション
- 296. 親子上映会 第 2 部 CON-CAN MOVIE FESTIVAL 提供 ショートムービー傑作選
- 297. 育児とクリエイティビティ
- 298. 坂本九生誕 70 年記念 映画の中の九ちゃん
- 299. 川崎の物語

- 300. 川崎ゆかりの映画人 今村昌平
- 301. 新春特集 お正月映画
- 302. 「昔のくらし 今のくらし」展関連上映 日本のおばあちゃん
- 303. ロシア映画特集 カネフスキー 3部作+レンフィルム
- 304. 毎日映画コンクール表彰式 川崎開催記念 過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 305. 特別企画 メディア芸術の原点を探る「キカイ デミル コト-日本のビデオアートの先駆者たち-」上映会
- 306. シネマテーク・プロジェクト 第4弾 フレデリック・ワイズマン選集
- 307. 特別企画 活動写真弁士の語りによる無声映画鑑賞会

#### 平成 24 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

- 308. 生誕 100 年・新藤兼人
- 309. いのちということ
- 310. シネマテーク・コレクション G.アラヴィンダン特集
- 311. 「郷土・川崎を掘る」展関連イベント 16 ミリ上映会
- 312. アニメーション特集 川崎市市民ミュージアム×CALF
- 313. 美術館名品展 関連上映
- 314. プロモーション特別上映「父をめぐる旅-異才の日本画家 中村正義の生涯」
- 315. 日活 100 周年記念上映 日活アクションの世界
- 316. 脚本家・田村孟
- 317. 『ベイビーズ』上映会
- 318. サッカー映画上映会「ユナイテッド-ミュンヘンの悲劇-」
- 319. 坂本九顕彰事業 映像と音楽で迎える「九ちゃんの夢」
- 320. 毎日映画コンクール表彰式開催記念 過去受賞作品アンコール上映 歴代受賞作品特集
- 321. 「与勇輝展-物語のなかに-」関連上映
- 322. 「昔のくらし今のくらし 2013」関連上映
- 323. ポルトガル映画界の新鋭 ジョアン・ペドロ・ロドリゲス

#### 平成 25 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

- 324. シネマテーク・コレクション 戦後の風景
- 325. 生誕 100 年・森繁久彌
- 326. 追悼特集 大島渚のドキュメンタリー
- 327. シネマテーク・コレクション 境界を越える ATG 映画
- 328. 親子上映会-「かぞく」そして「いのち」を想う-
- 329. 夏休みアニメ祭り edge of the animation 実写とアニメの境界を
- 330. 夏休みアニメ祭り
- 331. 「-アニメ化 40 周年- ルパン三世展」関連上映
- 332. シネマテーク・コレクション アルゴの仕事~90年代、独立プロの行方~
- 333. 洋画特集-憧憬の欧州-
- 334. アートギャラリー「1980 年代の大衆文化」展 関連上映 back to 1988

- 335. 開館 25 周年記念フェスティバル「~食とアートと音楽と~」関連上映
- 336. 「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」展 関連上映
- 337. 脚色術-原作と脚本の関係
- 338. 追悼 小説家・山崎豊子
- 339. 蘇ったフィルムたち~東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集
- 340. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 341. 「タベルことにまつわること」展、「昔のくらし今のくらし 2014」展 関連上映 タベルこと、イキルこと

#### 平成 26 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

- 342. シネマテーク・コレクション インドの映像詩人 G.アラヴィンダン特集
- 343. 「横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS」関連上映 横尾忠則 映画曼荼羅
- 344. トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ 50 年展
- 345. シネマテーク・コレクション 日本のドキュメンタリーの系譜 vol.1
- 346. シネマテーク・コレクション 日本のドキュメンタリーの系譜 vol.2
- 347. 特集上映 脚本家 笠原和夫
- 348. 川崎市・ザルツブルグ市文化交流事業「オーストリア映画フェア」
- 349. 現代アート展+映画上映 藤村豪&内野清香 ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ
- 350. シネマテークコレクション レンフィルム-ペレストロイカ以前/以後-
- 351. 親子上映会 童話アニメーション

#### 平成 27 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

- 352. フランス映画特集 ボールガールにおける愛と政治
- 353. MoMA ニューヨーク近代美術館 映画コレクション
- 354. 市民ミュージアム収蔵品テレビドキュメンタリー '80年代からの検証
- 355. 終戦 70 周年記念 戦争の記録と映画・戦争映画の視点
- 356. クロード・ランズマン特集
- 357. 収蔵ビデオ作品上映
- 358. “かわさきシネマアワード” 映画で見るかわさきの物語 ノミネート作品上映会
- 359. シネマテーク・コレクション ATG 特集 役者の引力!
- 360. 映像芸術の世界 松本俊夫 特集
- 361. 「江口寿史 KING OF POP」展 関連上映 江口寿史と 80 年代日本映画

# 平成 28 年度 市民ミュージアム 利用者統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常 設 展	9,663	11,141	10,171	11,625	7,875	11,736	12,367	11,037	9,194	6,172	0	0	100,981
企 画 展	有 料	36	376	582	1,289	2,875	4,894	636	715	0	0	0	11,403
	無 料	61	453	524	758	5,142	6,130	6,893	7,172	4,448	7,585	0	39,166
映像ホール	有 料	615	918	738	754	551	1,087	507	702	1,072	185	0	7,129
	無 料	137	178	198	396	122	499	220	413	641	625	0	3,429
ミニホール		94	95	160	64	87	59	80	99	72	0	0	810
館内イベント・講座等		265	220	264	643	760	543	1,108	446	804	1,195	0	6,248
ミュージアムライブラリー（映像）		316	312	305	328	316	306	376	288	305	153	0	3,005
ミュージアムライブラリー（図書）		515	455	509	881	742	625	607	591	478	266	0	5,669
ミュージアムライブラリー（閲覧）		0	0	18	19	18	13	16	4	15	0	0	103
研修室等利用者		125	125	145	20	28	66	40	36	51	29	0	665
ミュージアムギャラリー1		0	0	0	0	0	0	614	1,542	0	0	0	2,156
ミュージアムギャラリー2		0	0	0	0	0	0	23	40	0	0	0	63
館外展示入館・出張プログラム等		627	0	0	2	0	0	43	0	8	20	207	1,083
合 計	12,454	14,273	13,614	16,779	18,516	25,958	23,507	23,068	17,128	16,230	207	176	181,910
利用者累計	26,727	40,341	57,120	75,636	101,594	125,101	148,169	165,297	181,527	181,734	181,910		
開館日数	26	25	26	27	25	25	26	24	24	11	0	0	239
1日平均利用者数	479	571	524	621	741	1,038	904	961	714	1,475	0	0	761

## 展示室別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
企 画 展 示 室 1	有 料	30	351	537	1,268	2,648	4,607	636	715	0	0	0	10,792	
	一 般	21	261	384	1,048	2,288	3,850	438	426	0	0	0	8,716	
	シニア	4	41	76	70	47	56	181	200	0	0	0	675	
	高校・大学生	5	23	54	101	229	436	8	25	0	0	0	881	
	小 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	6	38	207	0	0	0	0	0	0	251
	一般(団体)	0	26	21	38	45	56	9	17	0	0	0	0	212
	シニア(団体)	0	0	1	1	0	0	0	45	0	0	0	0	47
	高・大生(団体)	0	0	1	4	1	2	0	2	0	0	0	0	10
	その他(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無 料	27	277	365	716	1,378	1,449	589	864	1,231	1,313	0	0	8,209
	招待券	10	113	236	284	338	494	117	207	0	0	0	0	1,799
	障がい者等	10	57	52	124	212	238	90	45	0	0	0	0	828
	友の会	1	5	0	5	9	12	7	12	0	0	0	0	51
小・幼児	2	59	50	280	770	665	331	534	172	117	0	0	2,980	
取 材	0	13	4	2	3	0	4	0	0	0	0	0	26	
その他	4	30	23	21	46	40	40	66	1,059	1,196	0	0	2,525	
企 画 展 示 室 2	有 料	6	25	45	21	0	0	0	0	0	0	0	97	
	一 般	4	18	34	14	0	0	0	0	0	0	0	70	
	シニア	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	7	
	高校・大学生	1	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	12	
	小 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般(団体)	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	シニア(団体)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高・大生(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無 料	34	176	159	42	3,175	4,212	4,511	3,976	601	1,620	0	0	18,506
	招待券	2	15	64	12	2,248	0	0	0	0	0	0	0	2,341
	障がい者等	2	33	30	14	0	0	0	0	0	0	0	0	79
	友の会	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
小・幼児	26	65	45	14	927	1,848	2,065	1,546	0	0	0	0	6,536	
取 材	0	14	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18	
その他	3	47	16	1	0	2,364	2,446	2,430	601	1,620	0	0	9,528	
ア ー ト ギ ャ ラ リ ー 1	有 料					227	287	0	0	0	0	0	514	
	一 般					187	223	0	0	0	0	0	410	
	シニア					16	12	0	0	0	0	0	28	
	高校・大学生					19	37	0	0	0	0	0	56	
	小 人					0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他					1	0	0	0	0	0	0	1	
	一般(団体)					4	15	0	0	0	0	0	19	
	シニア(団体)					0	0	0	0	0	0	0	0	
	高・大生(団体)					0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(団体)					0	0	0	0	0	0	0	0	
	無 料					589	469	1,793	2,332	2,616	4,652	0	0	12,451
	招待券					201	178	0	0	0	0	0	0	379
	障がい者等					48	46	0	0	0	0	0	0	94
	友の会					4	6	0	0	0	0	0	0	10
小・幼児					258	160	0	0	273	877	0	0	1,568	
取 材					1	1	0	0	0	0	0	0	2	
その他					77	78	1,793	2,332	2,343	3,775	0	0	10,398	
映 像 ホ ー ル	有 料	615	918	738	754	551	1,087	507	702	1,072	185	0	7,129	
	一 般	353	679	409	454	324	787	374	433	838	73	0	4,724	
	優待割引	2	0	4	3	2	2	2	4	11	2	0	32	
	学 生	3	33	17	29	31	84	25	6	35	0	0	263	
	シニア	189	128	197	178	144	154	91	208	149	88	0	1,526	
	小中学生	0	0	33	22	3	0	1	2	1	0	0	62	
	友の会	9	2	2	5	4	7	5	9	6	7	0	56	
	スカラチケット	59	76	76	63	43	53	9	40	32	15	0	466	
	無 料	137	178	198	396	122	499	220	413	641	625	0	3,429	
	招待券	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	障がい者等	122	164	169	180	96	99	103	167	91	49	0	1,240	
	幼 児	4	0	15	1	0	1	2	0	0	0	0	23	
	モニター	2	14	14	215	26	399	115	246	550	576	0	2,157	

# 平成 28 年度歳出予算

単位：千円

事業名等		予算	備考
市民ミュージアム予算合計		637,013	
市民ミュージアム運営管理事業費		406,348	
市民ミュージアム非常勤職員経費		22,759	
01	報酬	17,141	非常勤職員報酬
04	共済費	5,578	非常勤職員共済費
09	旅費	40	
市民ミュージアム運営管理事業費		344,906	
04	共済費	454	
07	賃金	3,872	臨時職員賃金
08	報償費	620	収集委員・評価委員等謝礼
11	需用費	42,228	光熱水費・消耗品・印刷製本費等
		(38,631)	電気料・水道料
12	役務費	1,001	電話料・郵便料等
13	委託料	292,204	総合管理委託・学芸業務委託等
		(161,212)	学芸業務委託
		(116,004)	総合管理委託
14	使用料及び賃借料	2,114	事務機器・賃借料等
16	原材料費	39	塗料等
18	備品購入費	2,131	資料作品購入・研究用図書購入等
		(2,000)	資料作品購入
19	負担金補助及び交付金	243	博物館協会会費等
市民ミュージアム企画広報事業費		23,991	
08	報償費	660	
11	需用費	491	
12	役務費	6,201	
13	委託料	16,469	広報物作成等
14	使用料及び賃借料	170	
市民ミュージアム教育普及事業費		14,692	
08	報償費	2,795	
11	需用費	963	
12	役務費	115	
13	委託料	10,752	
		(10,132)	社会科教育推進事業費
18	備品購入費	67	
市民ミュージアム施設整備事業費		230,665	
市民ミュージアム施設整備事業費		225,715	
13	委託料	13,983	
15	工事請負費	211,732	映像ホール等デジタル対応設備工事
市民ミュージアム維持補修事業費		4,950	
15	工事請負費	4,950	緊急対応補修工事

( ) は内数

## かわさき市美術展運営委員会

### 1. 設置主旨

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民の文化芸術の向上及び円滑な事業の運営を目的に設置する。

### 2. 委員構成

美術作家または美術評論家 (3名)  
川崎市文化団体関係者 (1名)  
学校美術教育関係者 (1名) 他

### 3. 開催

○第50回かわさき市美術展第1回運営委員会

日 時：4月19日

会 場：川崎市市民ミュージアム会議室

議 題：第50回記念かわさき市美術展募集内容について  
審査委員について

○第50回かわさき市美術展第2回運営委員会

日 時：平成29年1月14日

会 場：川崎市市民ミュージアム会議室

議 題：50回記念かわさき市美術展審査結果報告について  
表彰式について

## 施設概要

敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室	2,551㎡
博物館展示室	1,491㎡
アートギャラリー	1,060㎡
企画展示室	1,334㎡
企画展示室 1	597㎡
企画展示室 2	590㎡
ミュージアムギャラリー-1・2	147㎡ (82㎡+ 65㎡)
逍遥展示空間	747㎡
映像ホール	342㎡ 266 席
ミニホール	57㎡ 40 名
(椅子席・ビデオのみ)	
研修室 1	70㎡ 24 名
(机・椅子固定)	
研修室 2	60㎡ 30 名
研修室 3	56㎡ 36 名
収蔵庫	2,433㎡ (9 室、前室を含む)
その他	12,083㎡
ミュージアムショップ	40㎡
ラウンジ	62 席
身障者設備	
トイレ	5ヶ所
車いす	4 台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2 台
授乳室	1 室
ベビーカー	3 台

## 設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹清訓)

展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

## 当時の総工費

建築工事費	88 億円
展示工事	23 億円
資料収集	21 億円
運営費	10 億円
合計で約	150 億円

## 収蔵品

平成 28 年度分	
購入作品・資料	0 点
寄 贈	117 点
寄 託	62 件 (継続を含む)

総点数 約 259,800 点 (平成 29 年 3 月 31 日)

考 古	約 72,000 件※
歴 史	約 29,350 件※
民 俗	約 21,200 点
美術文芸	約 11,500 点
グラフィック	約 10,000 点
写 真	約 20,250 点
漫 画	約 64,000 件※
映 画	約 12,500 点
ビデオ	約 19,000 点

※数表記の分野は、今後の調査研究により増加します。

## 指定文化財

神奈川県指定 1 件

鰐口 1 口

川崎市指定 23 件

紙本墨画淡彩仙女図 2 幅

青銅製鰐口 1 口

古筆手鑑「披香殿」 1 帖

後北条氏の虎の印判状 (永禄元年) 1 通

後北条氏の虎の印判状 (永禄 7 年) 1 通

後北条氏の虎の印判状 (天正 15 年) 1 通

関東下知状 附 極札 1 枚 1 通

板碑 1 基

有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器

附 坏 19 箇 3 組 3 箇

有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器

附 簪状骨製品 1 本 3 組 7 箇

生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器

附 鹿角製刀子柄 1 本 2 組 4 箇

生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1 枚 1 組 2 箇

菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器

2 組 4 箇

野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1 枚 鉄釘 13 本 1 組 2 箇

稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器

附 和銅開寶 1 枚 1 組 2 箇

細山坂東谷古墳出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1 枚

状骨製品 2 本

无射志国荏原評銘文字瓦 1 点

万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括

宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括

下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括

梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括

獅子頭 3 頭

大師河原の漁撈具 一括

鷲ヶ峰遺跡旧石器時代出土品 一括

## 職 員

(平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで)

### 川崎市市民文化局

#### 川崎市市民ミュージアム

館 長	高田 智幸
副館長	中山 健一
担当課長	豊村 和弘
担当課長	馬場 良幸
課長補佐	河野 正伸
課長補佐	小松 史尚
課長補佐	御簾納 誠
担当係長	朝倉 千亜希
担当係長	岩村 史紀
職 員	穴戸 望
	武田 智子 (嘱託)
	澤口 恭子 (嘱託)
	後藤 愛美 (嘱託)
	藤垣 円 (嘱託)
	門 あすか (嘱託・4 月まで)
	友野 里香 (嘱託・5 月から)
	鈴木 恵梨子 (嘱託)
	菅井 薫 (嘱託)
	豊田 倫子 (嘱託)

### 公益財団法人川崎市生涯学習財団

学芸室長	望月 一樹
学芸総務課長	中田 秀逸
課長補佐	深川 雅文
課長補佐	高橋 典子
主 査	濱崎 好治
主 任	林 司
主 任	平井 直子
	新井 悟
主 任	森宗 厚子 (嘱託・1 月まで)
	佐藤 美子 (嘱託)
	佐藤 友理 (嘱託)
	渡邊 裕太 (嘱託)
	村山 翠 (嘱託)
	吉村 麗 (嘱託)
	山田 渉 (嘱託)
	吉川 貴子 (嘱託)
	磯山 浩美 (嘱託)
	廣地 美香 (嘱託)

平成 28 年度  
川崎市市民ミュージアム年報  
2016 年 4 月～2017 年 3 月

平成 29 年 7 月発行  
編集・発行／川崎市市民ミュージアム  
川崎市中原区等々力 1-2  
電話 044-754-4500  
印刷／株式会社ホクシン



KAWASAKI  
CITY  
MUSEUM